

会長のページ 組織の外部評価について	河野 雅行	3
日州医談 宮崎県における看護師・准看護師の育成問題を再考する	花田 武浩	4
随 筆 西南戦争と宮崎の医療	大西 雄二	6
エコー・リレー (513)	今給黎 承, 福島 克彦	8
メディアの目 春の1日	上野 敏彦	9
国公立病院だより (国立病院機構都城医療センター)	冷牟田浩司	14
宮崎大学医学部だより (機能制御学講座薬理学分野)	武谷 立	16
専門分科医会だより (透析医会)	藤元 昭一	17
医師国保組合だより 第22回歩こう会に参加して	山路 健	30
私の本 緩和ケア病棟メッセージ「旅立つ人に寄り添って」潤和会記念病院 緩和ケア病棟 メッセージ集編集委員会		73
診療メモ 改正道路交通法後の宮崎県の臨時適性検査の実情報告と自経験報告	宇田川充隆	74

宮崎県感染症発生動向	10
各郡市医師会だより	12
あなたできますか? (平成28年度医師国家試験問題より)	18
第1回 宮崎県 病院内メディカルラリー開催	19
九州医師会連合会第370回常任委員会	22
ベストセラー	23
平成29年度女性医師支援事業連絡協議会	24
日医インターネットニュースから	26
医師国保組合だより	32
理事会日誌	36
県医の動き	41
追悼のことば	42
会員の異動・変更報告	43
ドクターバンク情報	49
行 事 予 定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ	78
あ と が き	82

お知らせ クールビズについて	25
宮崎県医師会諸会費について	28
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	35
第19回宮崎県医師会医家芸術展会期について	48
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	53
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	72
「はまゆう随筆」原稿募集	77
郡市医師会への送付文書	80
ご 案 内 平成30年度第75回宮崎県医師会総会	48

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品:写真〕

歴史もゆかし - 藤 -

八女の藤まつりのバスツアーに参加した。妻が戦時中疎開したのが八女だった。妻のお供して、どんな藤か期待して撮影に出かけた。会場は、人々で賑わい見事な藤棚が出迎えてくれた。中心より少し外れた隅に、被写体となった藤に出会った。今までに見てきた藤の中で一番と感動した。黒木の藤と称され、愛でられている。

宮崎市 にし むら あつ のり
西 村 篤 乃

会長のページ

組織の外部評価について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

国立を始めとした公的機関や民間企業においても、組織の見直しや改革がなされており、その一環として外部評価制度が取り入れられています。組織を良い形で維持するためには何らかのチェックは必要と思われます。組織の内部からのみでは気付かない盲点や欠陥については、外部からの眼でチェックする必要があります。傍目八目の例えもあるように内部からでは見えなかった部分が見えてくるかもしれません。特別な批判もなく今が上手くいっているから良いでは裸の王様になる危険性もあります。常時可視化状態であるべきとの考えは組織の腐敗や不祥事を未然に予防するのに一理あります。では、時世を考慮して県医師会も会員外のメンバーによる外部評価制度を設ける必要はあるのでしょうか？

県医師会は諸事の決定は理事会で行い、代議員会で報告・協議・議決を行っています。また適時、弁護士、税理士、労務士等の先生方のご指導を受けておりますし、監査委員(医師会員)による定期的な監査を受けています。更に公益法人化後には県の監視下に置かれています。このように様々なチェック体制が整っており、不祥事の起こる余地は殆どありません。

また、我々が携わる医療分野においては、決して外部に開示してはならない個人情報の塊とでもいべき医療情報や機微情報を多く取り扱っています。公益法人の性格上、情報開示は義務付けられてはいても、全てを会員以外に公開するには無理があるのではないかと考えています。

情報を広くオープンにするシステムでは誰もが評論家になれるし、野次馬にも成り得ます。表に出さないことを隠蔽と表現すれば、それは言葉自体が悪印象を与えますが、専門的な組織を専門的知識のない立場の人々が評価するのは如何なものでしょうか？無責任な批評はできても誰もが正しい判断ができるものでしょうか。国の協議機関の一部では、政治主導の名の下に医療に直接携わっていない人達のみで医療の在り方を論じている例もありますが、必ずしも成果を挙げているとは言えません。確かに、関係者のみで協議・決定することにも問題点はあります。専門家集団では針の穴的な議論になりかねないし、独善に陥りやすい危険性もあります。専門的知識のない人々だからこそ評価できる部分もあるかもしれません。しかし、それはあくまでも部分的に留まります。専門家を全く排除するのは如何なものでしょうか。

一方で、個人でも組織でもチェックや評価が必要であることに異論はありません。古来より三省の言葉もあります。学齢期では通信簿があり、長じた後は上司や同僚からの叱責や忠告もありますし、評価の一部として各種の表彰等もあります。有名人になれば死後に至っても様々な評価がなされかねません。

このように組織の情報公開や評価について、すぐに結論が出せるものではありませんが、地域医療は患者や県民と共に築いていくとの認識の下、組織が健全に機能するために外部評価が必要とされる時期が来ることも想定しながら、会員の皆様と考えていきたいと存じます。

(平成30年 4 月20日)

日州医談

宮崎県における看護師・准看護師の
育成問題を再考する理事 花 田 武 浩
はな だ たけ ひろ

1. 県内の看護学校新規卒業生の動向は？

平成30年4月現在、宮崎県内には看護師を養成する場として、大学2校、3年課程7校、夜間定時制3校、5年一貫看護師養成課程5校があります。このうち4校は平成25年以降に新設されています。また准看護学校としては、いずれも医師会立の6校があります。日州医事第819号(平成29年11月号)に佐藤信博理事も詳細に述べていますが、例えば平成28年3月の医師会立の看護学校の卒業生は、その82.7%が県内に就職しています。一方で同じ年度に医師会立以外の看護学校生は、34.1%のみが県内に就労しているのが現状です。その年度によっては若干の差はありますが、医師会立の看護学校の卒業生の80%以上が毎年県内に就職して宮崎県の医療を支えています。宮崎県は看護師不足の現状を抱える一方で、大都市圏を中心とした地域への看護師供給県となっているという現実があります。厚労省も「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師などの働き方ビジョン」の中で触れていますが、看護師のみならず准看護師制度の重要性、その存在意義を認める提言をしてくるようになりました。宮崎県も行政の立場として、県内に就労する学生を多く輩出している看護学校、准看護学校に対しては、補助金などの措置でもっと大きなインセンティブを設け、県内に学生が多く残ってくれるような流れを作るべきでしょう。

2. 看護師確保に関しては大きな差が

そのような宮崎県ですが、看護師確保に関しては大きな地域格差が存在しています。卒後、宮崎県内に多くが就職してくれている医師会立の看護学校に限ってみても、平成29年度の入学者をみると、宮崎(定時制看護師養成)、延岡(定時制看護師養成及び全日制准看護師養成)、日向(全日制准看護師養成)、都城(定時制看護師養成)の各校は定員を満たしています。一方で、宮崎(全日制准看護師養成、定員100名、入学者84名)、児湯(全日制准看護師養成、定員20名、入学者16名)、都城(全日制准看護師養成、定員70名、入学者40名)、そして小林(全日制准看護師養成、定員40名、入学者16名)の各校は、定員割れしている現状があります。また、県内の看護師数を人口10万当たりで2次医療圏ごとと比較しますと、宮崎東諸県では1,399人であるのに対して西諸では1,179人、西都児湯に至っては713人であり同じ宮崎県内でも地域により大きな差がみられます。

3. 西諸地域の現状はさらに厳しい

県内の医療機関はいずれも看護師確保には苦勞されていることと思いますが、私が在籍しております西諸地域は、特に慢性的な看護師不足の現状があり、いずれの医療機関も看護師確保に頭を悩ませています。西諸医師会は小林西高等学校と協力して、准看護学校を運営し、今年で開校60年となります。しかし、表に示しますように入学対象となる中学校卒業生の著明な減

少もあり、平成16年以降は40名の定員に対し、入学者はおおよそ半数の20名程度を辛うじて確保するにとどまっています。県内のほかの医師会立准看護学校とはシステムが異なるため、中学既卒者や社会人などを積極的に受け入れることはできず、今後も入学者の確保には頭を悩ますことになりそうです。小林ハローワーク所長のご厚意により、西諸地域での看護師の求人・求職者数を調べてみました。平成29年9月時点で113名の求人があったのに対して、求職者は43名のみ。この数字は年度当初からの累計数で、9月に限りますと新規の求人数が51名であるのに対し、新規の求職者数はわずかに10名です。慢性的な看護師不足の現状が存在していること、雇用する側とされる側の間に希望条件などに大きなミスマッチが存在していることが推測されます。求職者が就業の際に重視する条件としては、給与よりも勤務時間、休暇が上位であるとする報告があり、とくに30歳代から40歳代の子育て中の求職者のニーズと求人側の希望条件とをいかに一致させていくか、限られた人材、潜在的な看護師資格所有者の方々のニーズを満たし、いかに就業に結びつけていくか、私共、医療機関を運営していく者にとっては頭の痛い現状、解決していかなければならない課題があります。

4. 新たな流れが

そのような中、西諸医師会は看護学校設立に

奔走し、3年前に宮崎総合学院の協力のもと新規に看護学校を開設することができました(小林看護医療専門学校、西諸医師会の会員でもある志戸本宗徳先生が校長を務められています)。設立はしたものの実習先の確保など関係者はかなり頭を悩まされたことと思います。定員40名で、この3月に第一回生として37名が卒業しました。地域の医療機関からの奨学金を得た23名が卒後3年間は該当する医療機関に就労します。さらに奨学生を含めた20数名が西諸地区の医療機関に勤めてくれることになっています。西諸地域の医療に貢献してもらえることに深く感謝しています。その一方で小林市内に看護学校、准看護学校の両者が存在することとなり、実習先となる病院関係者の負担は増えてしまっています。かくいう私も両校で複数の講義を担当しております。地域の医療体制を存続させるためには多少の負担はいたしかたないことでしょうが。

5. おわりに

出生数の低下にともない若年層が著明に減少していく一方で、40代、50代の働き盛りの看護師さんたちが、近い将来に一線を退いていく日が来ます。この年代の方々が現場からいなくなった時に、当地区はもちろん宮崎県全体として現在の体制を維持していくことができるのでしょうか。次の世代につないでいくための方策が必要とされています。

年度別受験者数(小林准看護学校)

年度 (平成)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
受験者数 (うち男子)	56 (7)	64 (4)	57 (4)	45	53	46	32	33	34	37	28	31	31	24	32 (6)	36 (14)	32 (4)	37 (5)	34 (8)	35 (5)
合格者数 (うち男子)	50 (3)	54 (3)	47 (0)	44	47	44	27	30	30	26	23	27	25	17	30 (5)	26 (8)	25 (1)	31 (4)	26 (5)	26 (2)
入学者数 (うち男子)	48 (3)	52 (3)	45 (0)	41	44	40	24	28	27	24	17	24	23	9	22 (4)	20 (5)	18 (0)	26 (4)	16 (5)	16 (2)

※平成13年から23年までは男子学生の受け入れ停止

随 筆



西南戦争と宮崎の医療

宮崎市 大西医院 ^{おお}大 ^{にし}西 ^{ゆう}雄 ^じ二

はじめに

西南戦争は宮崎において、大きな衝撃であった。勃発と戦後を見直し、記述する。

NHKの大河ドラマ「西郷どん」に触発され、書いた。

西南戦争の勃発

1871（明治4）年、廃藩置県により宮崎県（元：日向）は6県に分かれた。医学所は2か所あった。1874（明治7）年、明治政府の国民への医療と、種痘普及のため宮崎仮病院が創立された。1876（明治9）年、宮崎県が廃止され、鹿児島県合併に伴い県立鹿児島病院宮崎支院となった。

1877（明治10）年、西南戦争が勃発した。西南戦争は宮崎県の山河を血に染め、社会、経済、人的損失とともに医療に大きな影響を与えた。戦争のため宮崎支院は閉鎖された。

西南戦争のなか、イギリス人医師ウィリアム・ウイリス（William Willis）は、門下生を伴って宮崎（当時鹿児島県の一部）に出張した。手紙のなかで、次のように述べている。

「多くの病人を診察したり、いくつもの山や山脈を越える苦しい旅を続けたりしたのです。いろいろな場所は、疲労を埋めあわせてあまりがあるほど美しい景色でした」。

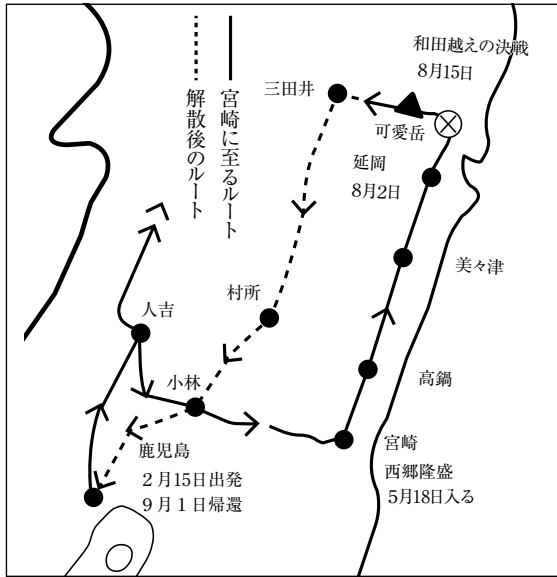
イギリス医学の治療は、近代的な影響で鉄砲、

大砲などの弾丸の摘出、壊疽の切断手術、クロロホルムによる麻酔などであった。

高木兼寛は、1849（嘉永2）年、宮崎県高岡郷に生まれた。1866（慶応2）年、ウイリスに就いて医学を修めるため、鹿児島に赴きイギリス流臨床医学を学んだ。1872（明治5）年上京し海軍に勤務、1875（明治8）年イギリスに留学し、クリミア戦争から帰還したナイチンゲールが病院内に「看護婦養成所」を創設するのを見た。

宮崎県（元：日向）では旧各藩から従軍している。西郷隆盛は1877（明治10）年の5月28日に宮崎入りし、鹿児島県宮崎支長を軍務所にした。宮崎県では「西郷札」が発行され経済の混乱をまねいた。

政府軍は高鍋の戦い、美々津の戦い、8月15日「和田越え」の戦いで敗退した。各地で野戦病院が設置されたが、高鍋、美々津、延岡へと病人の搬送に奔走する様子が記されている。装備が不足し、金属類を鑄造して弾丸を作った。治療薬にも事欠いた。政府軍は野戦病院の組織化があったが、西郷軍は士族優位のこの点を過少評価したきらいがある。傷病兵の移送は大がかりなことであった。政府軍は「大阪陸軍臨時病院」を開いている。記録は『明治十年西南戦争役戦傷写真及写生図』となった。政府軍の軍医た



宮崎での薩軍の主な動き

ちにより医学は漢方から蘭学，そしてドイツ医学そのものが変革をもたらした。

西南戦争の戦後

投降した薩軍医は薩軍傷病者の医療を担当し、延岡に臨時陸軍病院支院が置かれた。1878（明治11）年1月，延岡支院は宮崎町に移され，宮崎支院は傷病兵のほか一般の患者に対しても診療した。

戦乱は伝染病の流行をもたらした。宮崎県でも痘瘡は2,500人以上の患者が出た。明治10年，痘瘡は宮崎県に流行し，西郷軍兵士によってもたらされたと思われていた。同年にコレラが西南戦争の帰還兵士によって全国的に流行した。

臨時陸軍病院（鹿兒島の支院）は，1879（明治12）年廃止となった。跡を引き継ぎ宮崎病院の経営が開始され，鹿兒島県費によって診療にあたった。1883（明治16）年，宮崎県が再配置され，鹿兒島県時代の公立宮崎病院は廃止された。

鹿兒島県との統合や分離，西南戦争の混乱な



宮崎医学所之跡—大淀川河畔

明治12年～明治18年：医学教育にはウイリスの弟子たちがあたった

どあり，医療の中核をなす官公立病院は続かなかった。宮崎県は「病院不毛の地」であった。「宮崎県立病院」の設立は，1921（大正10）年まで待たねばならなかった。

宮崎病院では医学所を付設して1879（明治12）年から1885（明治18）年の間医学生の育成にあたった。医員にはウイリスの弟子が多数いた。生徒数は30名，この中からのちに開業したものもあり，宮崎県の医療の中核を担う人材が育った。宮崎県大淀川河畔に「宮崎医学所之跡」の石碑が建てられている。

西南戦争による経済の混乱とともに，地域によっては家屋消滅となり，病院は閉鎖，設立，閉鎖と翻弄された。将来有望な地域の指導者層の人数が多く影響を受けた。痘瘡とコレラが流行し住民に多大の被害を与えた。西南戦争は初めての鉄砲器が使用され，それによる外傷の治療が必要となり，軍陣医学の先駆けとなった。

西南戦争は宮崎県の経済をはじめ医療に多大な影響を与えた。

エコー・リレー

(513回)

(南から北へ北から南へ)

烏 賊

都城市 福島外科胃腸科医院 ふくしまかつひこ
福 島 克 彦

春から初夏にかけて胸が高鳴る。大型のアオリイカ釣りシーズンが始まるからだ。アオリイカは一年中釣れるが、秋に卵から孵化した小型の個体が外敵から逃れるように浅瀬で育ち、ある程度大きくなり、さらに餌を求め冬に深場へ移動する。そして大型に成長し、春以降に産卵のため再び浅瀬にやってくる。それを海老に似た疑似餌エギで狙う。エギを遠投し、海底に沈めた後、しゃくる。ひたすらしゃくり、生きた海老のようにみせる。イカが捕食しようとエギを抱く。その時のズンとするあの重み。ドラグが止まらず「ジージー」とジェット噴射のような音。釣り上げた時の輝き。持って帰り、食べた時のあの新鮮な美味しさ。一度味わうとやめられない。

しかし、小型のイカが沢山釣れる秋と比べ釣れないことが多い。釣れるという宣伝で、竿・リール・エギなど新しい商品が毎年のように発売される。期待し、つつい買ってしまいが、宣伝通り釣果が上がることは少なく、苦戦する。新しい道具の本質がわかっていないこと、使いこなすまで技術が必要なこと、道具との相性があるからだ。

整形外科でも同様なことが言える。新しい手術方法・インプラントが日々開発される。ある程度経験された術者では同様な短期成績が残るようになっている。しかし、導入初期にはラーニングカーブが必ずあり、習熟に時間がかかる。短期成績だけではなく長期成績も考え、治療の基本・本質を大事にしたい。

〔次回は、宮崎市の小島 岳史先生をお願いします〕

「食べる」という事

日向市 今給黎医院 いまきいれさとる
今給黎 承

「食べる力」(文春新書 塩田芳享著)という本を読んだ。最後まで口から嚙んで食べたいという万人の思いに医療が十分に寄り添えていないという書き出しで、多職種連携での取組みが紹介されており、「食べる」について考えさせられた。医食同源と言われるが、現代医療は「食べる」を制限することが多い。誤嚥性肺炎に対する絶食や、生活習慣病に対する塩、糖、脂質制限等々。しかし高脂血症に対する脂質制限が見直され、高齢者に対する食事制限がサルコペニアを助長することも明らかにされ、反省点も多い。食後高血糖が血管病を誘発することもメディアで強調されている。そこで、外来では「食事に十分時間をかけよう」、「野菜を最初にごはんは最後に」、「肉・魚をしっかりと食べよう」などと偉そうに指導している。しかし自分を顧みると朝・昼食は5分前後で済ませ、時に何を食べたか覚えていない。先日大腸ポリープ切除を受け、前日から禁酒し治療食を摂り、7日間の食事制限を指示された。2日間はポカリと飴玉で凌いだ。3日目には集中力が欠如し、「食べる」を制限される辛さが身に沁みだ。その日妻が三分粥と具のないスープとみそ汁を作ってくれた。生まれて初めて、米の甘さと鰹だしの旨味と味噌こうじの香りを感じながら食べた。4日目に息子が帰省し暴飲暴食に戻ったが、幸い下血しなかった。その後多忙な日が続く、些細なことで夫婦喧嘩をしまい「食べる」を考えることもなく経過していた。数日前隣人から採れたての筍と蕨を頂き、機嫌を直した妻が煮物と筍飯を作ってくれた。やっぱり旬のものを楽しく食べるのが一番おいしいと思った。

〔次回は、都城市の木原 浩一先生をお願いします〕

メディアの目



春の1日

共同通信 宮崎支局長

うえ の とし ひこ
上 野 敏 彦

昨年7月に2度目の宮崎勤務となった。自動車は運転しないので、もっぱら自転車を愛用し、昼飯時には市内各所にある大衆食堂を訪ねることを楽しみにしている。

それが陽気に誘われて3月末、花見をしようと大淀川堤防へ自転車で上がると、そのまま綾町へ向かう自転車専用道へ入ってしまった。ママチャリだから、若者たちの新しい自転車に次々と追い抜かれていく。それでもサクラが舞う中のサイクリングは快適だった。

川沿いでは田植えが始まっていて、あぜ道には菜の花やレンゲ、スマレ…と季節の花の彩りが目にまぶしかった。牛の群れにも出会ったが、どれものんびりと牧草をはむ。ひねもすのたり、何とかの春…という感じだ。

宮崎から綾までは約26^{キロ}。普段は路線バスで1時間の距離だが、自転車では寄り道しながら走るので2倍はかかる。遅い昼食は老舗のウナギ店が出すブドウ豚のステーキ定食。ワインを造るときに出たブドウの絞りカスを餌にして育てたという豚のロース肉は旨味が濃いように感じた。一緒に出た呉汁は大豆をすって作った温かい汁で、まさに郷土食という感じ。

綾といえば、全国に先がけて有機農業の町を

宣言したことで知られる。照葉樹林の山一帯がユネスコのエコパークに登録され、現在では年間100万人近い観光客を集め、町の中心にある手作り本物センターには季節の野菜や果物、弁当などが並んで賑わいを見せている。

「先輩たちは今までこの山をどう利用するかという視点でばかり付き合ってきた。山に感謝する見方も大事では」。そう考える若者に喫茶店で話を聞いた。昭和の初期まで町内で舞われていた神楽をこのたび復活させたというから面白い。綾でも照葉樹林を守る世代から山の恵みに感謝する世代へと代替わりが進んでいるようだ。

町内には知り合いが多いため、寄り道すればキリがないと考え、夕刻帰途に就いた。川沿いにはフジの花が咲いていた。途中の国富町から専用道を外れると、至る所に緑の丘が目についた。古墳の多い町なのである。

大きな書店で郷土の本を立ち読みして、宮崎市文化公園にたどり着いたのは午後7時すぎ。夜桜を堪能してからニシタチへ繰り出した。はしご酒をすると、足がガクガクしていることに気づいたが、健康増進面を考えても宮崎の暮らしに自転車は欠かせないと思った。

宮崎県感染症発生動向 ～ 3 月 ～

平成30年 2 月 26 日～平成30年 4 月 1 日 (第 9 週～第13週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核19例(男性10例・女性 9 例)：保健所別報告数は【図 1】，病型別報告数は【表 1】，年齢別報告数は【表 2】のとおりである。

3 類：報告なし。

4 類：○E型肝炎 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，主な症状として発熱，黄疸，肝機能異常がみられた。

○A型肝炎 5 例：宮崎市(4 例)，都城保健所管内から報告があった。20歳代(2 例)，30歳代(1 例)，50歳代(2 例)で，主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝機能異常等がみられた。いずれも A型肝炎のワクチン接種歴は不明もしくははない。また，海外渡航歴は有(2 例)，無(3 例)である。

○重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 1 例：日南保健所管内から報告があった。80歳代で，主な症状として発熱，血小板減少，白血球減少がみられた。ダニの刺し口はなく，海外渡航歴もない。

○レジオネラ症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で，病型は肺炎型である。主な症状として呼吸困難，意識障害，肺炎がみられた。

5 類：○ウイルス性肝炎 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代で，病型は B 型である。主な症状として全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 3 例：宮崎市，都城，延岡保健所管内から報告があった。

・50歳代で，尿路感染症である。原因菌は *Enterobacter cloacae* である。

・60歳代で，主な症状として肺炎がみられた。原因菌は *Enterobacter aerogenes* である。

・80歳代で，主な症状として肺炎がみられた。原因菌は *Proteus mirabilis* である。

○クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で診断の確実度はほぼ確実である。主な症状として進行性認知症，ミオクロスムス，錐体路症状，小脳症状，無動性無言状態等がみられた。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で，主な症状として発熱，意識障害，ショック，菌血症がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症 5 例：宮崎市(3 例)，都城，延岡保健所管内から報告があった。30歳代，50歳代，60歳代，70歳代，90歳代で，主な症状として発熱，意識障害，髄膜炎等がみられた。肺炎球菌のワクチン接種歴は有(2 例)，無(1 例)，不明(2 例)である。

○梅毒 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代男性で，病型は早期顕症梅毒(Ⅱ期)である。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)，梅毒性バラ疹がみられた。

○百日咳19例：高鍋(8 例)，宮崎市(4 例)，日向(3 例)，日南(2 例)，都城，延岡保健所管内から報告があった。5～9歳(5 例)，10歳代(13例)，20歳代(1 例)で，主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(16 例)，無(1 例)，不明(2 例)である。

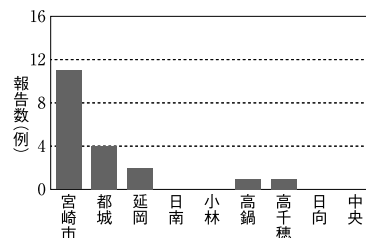


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	11
その他の結核 (結核性胸膜炎，リンパ節結核)	2
無症状病原体保有者	6

表 2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	1
30歳代	1
50歳代	3
60歳代	4
70歳代	1
80歳代	4
90歳代	3
100歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	A型肝炎ウイルス(遺伝子型 I A)	5
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	7
	インフルエンザウイルス AH3	5
	インフルエンザウイルス B (山形系統)	15
	エコーウイルス 9 型	1
	エンテロウイルス 71 型	1
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1
	ヒトパレコウイルス 6 型	1
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	2
	<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,884人(定点あたり157.2)で、前月比60%, 例年比83%と減少した。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病及び感染性胃腸炎(ロタウイルス)で、減少した主な疾患はインフルエンザである。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、手足口病及び感染性胃腸炎(ロタウイルス)である。

咽頭結膜熱の報告数は164人(4.6)で前月の約2.4倍、例年の約1.5倍である。宮崎市(7.3)、高鍋(7.0)、日南(6.3)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、1～4歳が全体の7割以上を占めている。

手足口病の報告数は242人(6.7)で前月の約2.6倍、例年の約2.7倍である。日南(21.3)、中央(14.0)、宮崎市(10.1)、高鍋(9.5)保健所からの報告が多く、1～3歳が全体の約8割を占めている。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の報告数は97人(13.9)で前月の約2.9倍、例年の約4.9倍である。日向(80.0)保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の9割以上を占めている。

前月との比較

	2018年 3 月		2018年 2 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	2,352	39.9	10,996	186.4	
RSウイルス感染症	161	4.5	120	3.3	
咽 頭 結 膜 熱	164	4.6	67	1.9	★
※溶レン菌咽頭炎	385	10.7	242	6.7	
感 染 性 胃 腸 炎	2,087	58.0	1,390	38.6	
水 痘	45	1.3	27	0.8	
手 足 口 病	242	6.7	92	2.6	★
伝 染 性 紅 斑	5	0.1	7	0.2	
突 発 性 発 疹	131	3.6	96	2.7	
ヘルパンギーナ	12	0.3	10	0.3	
流行性耳下腺炎	145	4.0	100	2.8	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	57	9.5	54	9.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルス)	97	13.9	34	4.9	★

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年 3 月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比135%と増加した。また、昨年3月(2.2)の111%である。

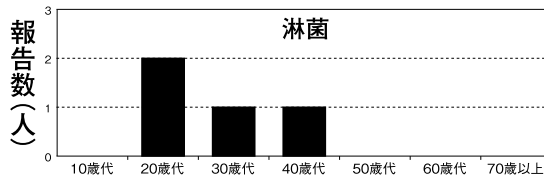
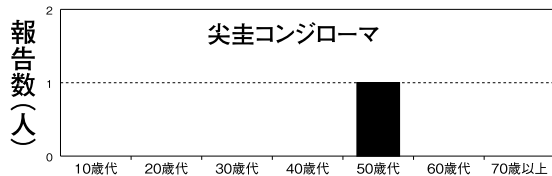
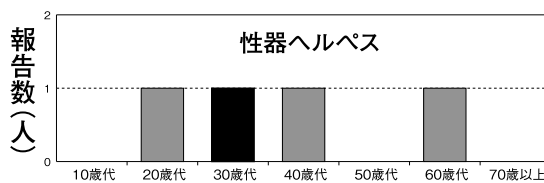
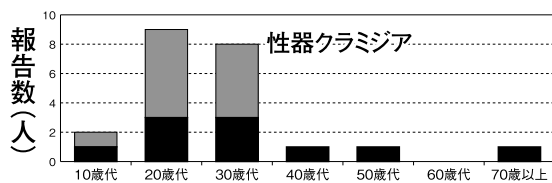
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で前月の約1.6倍、昨年3月の約1.2倍である。20～30歳代が全体の約8割を占めている。(男性10人・女性12人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.7倍、昨年3月と同率である。
(男性1人・女性3人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年3月と同率である。(男性1人)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の2.0倍、昨年3月と同率である。(男性4人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月と同率である。また、昨年3月(3.7)の69%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約1.1倍、昨年3月の約0.7倍である。70歳以上が全体の6割以上を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月の約0.3倍である。(昨年3月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより**西都市西児湯医師会**

新年度になり、まず当医師会にとっては喜ばしいことに、西都児湯医療センターへ地域医療に興味のある青年整形外科医が赴任され、地元医師会に入会していただきました。医師会会員も高齢化してきており、若き医師の勤務医としての赴任、あるいは開業が望まれます。

もう一つの喜びは、当医師会の大塚病院が、この原稿が掲載される5月に開業100周年(大正7年5月1日開業)を迎えることです。現理事長大塚直純先生は、12年半当医師会会長を歴任され、その後も当医師会監事、更には県医師会常任理事も歴任され、平成26年には旭日雙光章受章されておられます。大塚直純先生には今後も当医師会の重鎮として、お体をご自愛していただき、理事会、会員の皆様にご教示、ご鞭撻をお願いしたいと思います。

話変わりまして、以前より骨粗鬆症治療薬開始、継続のために歯科との連携が重要視されております。また歯周病は様々な病気との関連性が指摘されてきており、医科歯科連携の充実は近々の課題と考えております。診療報酬改定があり、医科と歯科の連携を推進する観点から、歯科診療を行う上で必要な診療情報や処方内容等の診療情報を、かかりつけ歯科医とかかりつけ医との間で共有した場合の評価がそれぞれ新設されました。今後も医歯薬関連の研究会等を多く企画し、コミディカルを含めた多職種の顔の見える関係を更に築いていきたいと思っております。

(松本 英裕)

宮崎市郡医師会

当会は病院事業をはじめとして多くの事業を行っていますが、当会は学術団体でもありますので、学術講演会(しのめ医学会)を年3回、医師会例会に併せて行っています。講師の選定は生涯教育委員会が担当しています。幅広いテーマでかつ多くの会員に興味のあるテーマを中心に選んでいます。講師は主に宮崎大学医学部の新任の教授が中心ですが、テーマにより県外からの講師もお願いしています。会員の皆さんの知識の向上の一助になればと思っています。

(菊池 郁夫)

都城北諸県郡医師会

昭和41年建築の都城医師会館及び看護専門学校は建物の老朽化にともない学生、教職員、医師会員の安全確保のため建て替え計画が進行中です。昨年8月に建築設計監理業者が決定し、今回4月16日建築施工業者の入札となりました。無事に落札となることを願うばかりです。平成31年4月に新校舎移転予定ですが、看護学校の経営状況が厳しい中、看護学生募集また、奨学金制度等に対し会員の皆様のご協力やアドバイスをよろしくお願いいたします。

(久保田 秀紀)

延 岡 市 医 師 会

看護師研修講座を年6回開催しています。新規開業された先生方を中心に講師になっていたき、基礎的なことから、最新の情報まで、分かり易く話していただいております。参加人数は、約40名から90名ぐらいで、昨年度の皆勤者は7名でした。ここ数年、延岡市では、耳鼻科、皮膚科、婦人科、内科、小児科、整形外科、眼科の先生方が開業され、延岡市医師会に入会されました。各科に渡り、新しい先生方に協力いただいて、看護師のレベルアップに少しでも寄与できればと考えております。

(大重 明広)

日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

3月24日(土)に当医師会の臨時総会を開催いたしました。

平成30年度事業計画書・予算書提案の後、役員選挙を実施いたしました。できるだけ多くの先生方に理事経験をしていただくために役員選挙規程の見直しを行いました。

被選挙辞退年齢の引き下げと、理事選挙の投票方法を変更し、現理事から5名、現理事以外から6名を投票する方法に変更して実施いたしました。

この結果、会長、副会長2名も被選挙辞退をしましたので、理事の先生方6名の新旧交代が図られました。6月定時総会までに役割分担を決めて、平成30年度の新体制がスムーズにスタートできるようにしたいと思っています。

(渡邊 康久)

児 湯 医 師 会

昨年より2週間も早く桜が満開になり、医院軒下に黄色いチューリップが咲き、病院でマスクをしている患者さんの病名がインフルエンザから花粉症に変わっています。

児湯医師会の現在の会員数は70名(A会員36名、B会員34名)です。昨年に比べ1名減少(A会員が2名減少、B会員が1名増加)していま

す。しかし、新富町にも小児科医院が開業し、郡内の小児科医療が充実してきています。

今年度は役員改選になっており、4月19日には次期役員選挙が行われました。一部の理事の変更のみで、現体制のまま継続することになりました。

(北村 洋)

南 那 珂 医 師 会

昨年末から退会や閉院退会される先生が相次ぎ、過疎化の波が医療にも波及してきたかと懸念しておりましたが、今年中頃を目途に新規開業予定医院の建築工事と、地区内で統合移転する病院の移転先整備工事が始まり、少し明るい話題となっています。

4月末の南那珂医師会総会で役員・理事の改選があり会長・副会長含め約半数の理事が交替し、6月から小生が会長に就任する予定です。南那珂地域住民の健康維持向上に関係諸団体と協調して医師会運営に努めていきたいと考えております。

(中村 彰伸)

西 諸 医 師 会

桜も満開が過ぎてすっかり暖かくなり夏日も記録する程です。さすがにインフルエンザの噂も聞こえなくなりました。

満開といえば、平成27年に開校した小林看護医療専門学校の第一期生、看護科37名、医療秘書学科4名がこのほどめでたく卒業し、そしてさらに看護師国家試験全員合格100%達成しました。まさに満開！拍手ー！カンパーイ！

学生さんたち、よくがんばりました。また学校を一から立ち上げていただいた関係スタッフの方々のひとかたならぬご苦労に心から敬意を表します。卒業生の全てが西諸に残ってもらえるわけではないでしょうが、若い元気モンたちのパワーが医療だけでなく西諸全体の活性を押し上げてくれるものとかかなり期待しております。

(河内 謙介)

国公立病院だより

国立病院機構都城医療センター



ひやまた こうじ 病院長
冷牟田 浩司

現在の独立行政法人国立病院機構都城医療センターは、明治42年、都城衛戍病院として創設されたのを皮切りに、昭和20年、厚生省に移管された後、長年、国立都城病院として運営されてきました。今年107年を向かえますが、平成16年、新たに国民の付託に応えるべく、多くの国立病院と国立療養所は一体となり、独立行政法人国立病院機構へと移行しています。都城病院も加わって国立病院機構都城病院と名を変えています。当時、都城北諸県郡医療圏には200床以上の急性期病院を謳っていた中規模以上の施設は少なく、当地の急性期医療を協力して維持していくことが喫緊の課題であったようです。そのため、当院の管理者たちは平成27年、都城医療センターと病院の名称を変更して急性期医療の旗を掲げて奮闘していた模様です。しかし、急性期病院といえども、人員は少なく、院内の設備は旧式で急性期医療を担うに十分とはお世辞にも言えず、全面的に施設、医療機器そして新たな優秀な医療スタッフの増員は急務でした。国立病院機構には多くの優秀なスタッフが残っており、次々と新しい取り組みが行われ、一気に全国最大の医療集団に変貌していきました。もちろん、従来担っていた国策医療（結核・ハンセン氏病、重症心身障がい児（者）・神経難病患者医療）は引き継いでいます。当院では平成20年から新病棟全面改築（5階建て急性期病床307床：NICU 6床・GCU12床）を開始し、平成28年夏、最後の外来診療棟、管理棟、リハビリ診療棟の新築改装がすべて終了し、現在、剖検室を含めて全面稼働ができる



ようになり、見間違ふような病院となりました。かつての旧式施設で十分でなかった外来・入院診療の環境、各種医療機能の機器のインフラは一新され、ようやく「箱モノ」ができました。それに恥じない「魂」を注ぎ込み、そして地域の方に「この病院に来てよかったと皆さんに愛される病院」作りに日夜、努めているところです。

しかし、医療界では2025年問題を前に「医療から介護へ」、「病院から地域へ」と地域包括ケアシステム構築に向けて変革の嵐に揺れています。宮崎県の地域医療構想ではこの都城北諸県郡医療圏でも2025年には特に高度急性期・急性期医療の必要病床数は半減し、一方で、在宅にむけての回復期医療の必要病床数は倍増、在宅医療・介護必要量も大きく膨らみます。このような需要の変化に対し、高度急性期から在宅介護にわたる一連の病状に応じた病床を地域内で適切に確保されることを目的に、現在、地域医療構想調停会議で各施設の一層の病床機能の分化、連携と役割分担の議論が進んでいます。当院もその議論をもとに、今後地域から求められる役割を検討している最中です。特に、私共、国立病院機構は経営母体が国立から外れたといっても、公的病院等として公的病院の範疇に含まれる立場とされており、「公的医療機関等2025プラン」に乗っ取り、地域医療構想の中で自院の立ち位置と役割分担を院内外で議論を続け、現在、次のように考えています。

1. 包括的がん診療・高度周産期医療を主体に
従来の高度急性期・急性期医療の維持、発展
を目指す

① 地域がん診療連携拠点病院であり、その役割を果たします。5大がん(肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、肝臓がん)、血液がん、婦人科がん、泌尿器がん、頭頸部・口腔がんなどの様々ながん患者の皆さんに対し、手術療法、化学療法、放射線療法、緩和ケア、生活支援(在宅復帰を含む)、がん登録など、標準的がん診療を実践し、県西部地域におけるがん診療の中心施設としての役割を引き続き、果たしてまいります。

② 地域周産期二次中核病院、地域周産期母子医療センターであり、その役割を果たします。NICU 6床、GCU12床を有し、ハイリスク分娩から新生児集中治療にいたるまで、県西部地区に加え、小林・えびの地区や大隅地区を含む広範囲な地域の高度周産期医療の砦として、引き続き責任を果たしてまいります。宮崎県では産科一次医療施設と二次医療施設間で胎児心拍陣痛図(CTG)のネットワークシステムが整備されつつありますが、そのシステムは都域の医療圏が発祥であり、順次、県中部、県北部へと整備が進みました。今年度に県南部の整備が完了する予定で、全県の高度周産期医療の受け入れ態勢が整備されます。都城地区はその先駆けとなった地域であり、「安心して子どもを産み、育てることができる」町作りに貢献してまいります。

2. 地域の要望に応じた回復期医療の導入

地域医療構想では当該地域で不足する回復期医療機能に貢献するため、地域包括ケア病棟(当院では在宅サポート病棟と命名しました)を本年3月に開設しました。これまでの急性期医療の経験・人財を生かし、急性期治療にめどが

ついた早い時期からシームレスな高度な質の高い回復期治療(postacute:高機能回復期リハ医療)を行い、一日も早い在宅復帰を支援いたします。運用が軌道に乗りましたら、院外からのsubacute患者(回復期医療を要する患者の収容)もお引き受けできるように準備を進めます。

このように分担すべき急性期医療(総合包括がん診療・高度周産期医療主体)と高機能回復期医療の複合機能施設として今後、地域に尽くすべく努めてまいります。

4月から診療部門に新しい力が加わりました。内科部門に代謝・内分泌・糖尿病専門医が加わります。院内での体制が整えば、生活習慣病総合内科センターとして、オープンする予定です。また整形外科、泌尿器科、呼吸器内科に医師が増員され、パワーアップします。地域医療支援病院、救急告示病院、開放型病院として、かかりつけ医の先生方との共同診療も一層充実させて行なってまいります。地域の医療従事者の皆様の生涯研修の支援も充実させてまいります。病診連携の夕べ、がん診療連携拠点病院研修会、感染管理研修会、医療安全研修会、医科病診連携の夕べ、歯科・医科病診連携の夕べ、緩和ケア研修、臨床倫理研修など様々な研修会を行っていますので、お気軽にご参加ください。小学生・中学生のための医療体験ツアー「メディカルキッズ」も引き続き行なってまいります。地域医療を担う看護師養成も引き続き行なってまいります。当院附属看護学校では6年連続、国家試験100%合格を続けています。初期研修医も増えてきて、今年は熊本大学からの研修医も加わり、総勢40名を超える初期研修医が都城医療センターで学びます。我々の仲間を1人でも増やし、次世代の人材育成にも努めていきたいと思っています。

激動の医療情勢の時代、地域のために何をすべきか、我々が果たすべき役目を職員全員とともに前向きで元気に考え、行動し続けるような病院運営を進めていきたいと思っています。

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 薬理学分野



たけや りゅう
武谷 立 教授

初代高崎浩一朗名誉教授、第2代和田明彦名誉教授、第3代村上学教授の後任として、平成26年3月に武谷立(平成5年九州大学医学部卒)が教授職を拝命して4年が経過しま

した。現在の薬理学教室スタッフは武谷のほか、助教の實松史幸(平成18年宮崎大学大学院医学系研究科博士課程修了)、根本隆行(平成22年宮崎大学大学院医学系研究科博士課程修了)の両名、助手の鹿毛陽子、技術・事務補佐員の秋山麻美の計5名ですが、秋山は現在1年間の産休・育休中であり、代替職員として横山加津枝を迎えています。

大学院生は、九州大学から出向していた松山翔(平成20年九州大学医学部卒)と入れ替わりに、この春まで都城市郡医師会病院で活躍していた宮崎大学第一内科在籍の坂田鋼治(平成20年浜松医大卒)が参画します。ブラウイジャヤ大学(インドネシア)からの大学院生Hikmawan Wahyu Sulistomoも4年目を迎え、いよいよ総仕上げの段階を迎えています。その他にも、本教室で学位を取得した丸田豊明先生(平成13年宮崎医科大学卒)の指導のもと、麻酔科在籍の日高康太郎先生(平成20年鹿児島大学医学部卒)が研究のため出入りしています。

当教室では現在、従来の薬理学的手法に加えて分子生物学・細胞生物学・生化学的な多様な解析方法を駆使して、「アクチン動態の制御機構」

を主要研究テーマとして進めています。特に心筋細胞におけるアクチン動態の研究では、疾患の病態解明から予防・診断・治療法の開発をも視野に研究を展開しています。「ベンチからベッドサイドへ」を目標に各種疾患の克服をめざした最先端の研究を幅広く推進できればと考えています。

教育面では、医学部医学科生を対象とした薬理学講義・実習を担当しています。赴任当初は薬理学講義は3年次に行われていましたが、医学教育分野別認証評価の導入にともなうカリキュラム再編により、講義時間数が減少した上に2年次に前倒しとなりました。臨床実習が重視された結果とはいえ、医学生が身につけておくべき基礎知識が減少する訳ではありませんので、より充実した講義が求められています。また、生理学や生化学といった薬理学のベースとなる分野の講義と並行して学習することになり、学生にとっての負担も増しているようですが、講義の内容や進め方に工夫を凝らしながら宮崎県唯一の医師養成機関としての責務を全うすべく努力しています。この春には、本学に赴任して最初に教えた医学生たちが卒業しました。今後の医師としての活躍を心から祈念しています。また将来、彼らが臨床の現場で感じた疑問を自らの力で解き明かすべく大学院の門戸を叩き、医学のさらなる発展のために共に研鑽する同志となってくれることを願って止みません。

当薬理学教室は、薬理学教育および薬理学研究を通じて、微力ながらも宮崎県の医療の発展に貢献できればと考えております。今後ともこれまで同様、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(透析医会)

ふじもと しょういち 会長
藤元 昭一 会長

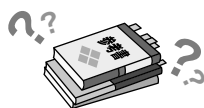
我々の専門分科医会は、県下全域からの内科系と泌尿器科系の医師約100名が構成員となり、県内の透析医療の継続と発展を目指して活動しています。各クリニックと基幹病院がお互いに診療上の役割

を補完し合いながら日常の診療を行い、特殊な対外循環治療であるため、感染・災害対策分野では宮崎県臨床工学技師会や宮崎県腎不全看護研究会とも一部共同した活動をしています。また、他の専門分科医会と同様に学問的・技術的向上を図るため、学術総会や研究会なども盛んに開催しています。

最近の診療上の大きな問題として、患者さんの高齢化、合併症を有す患者さんの増加、長期透析患者さんの増加があります。そのため、週3回の通院が困難な患者さんも増え、透析自体の継続も難しい患者さんも出てきています。さらに、末期腎不全ではあるが、多くの合併症を有し、判断能力がない状況下でも透析を開始するのか、といった問題にも直面するようになってきました。このような中、日本透析医学会血液透析療法ガイドライン作成ワーキンググループ・透析非導入と継続中止を検討するサブグループから、「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」が発表されました。これには、学会のアンケート調査結果で、「議論すべきである」、「学会として何らかの指針を提示してほしい」という意見が圧倒的多数だったことにも後押しされました。学術

集会では、日本尊厳死協会の先生や当学会の顧問弁護士さんも交えて討論されてきました。内臓合併症のある方、四肢に障害のある方、精神疾患をお持ちの方、認知機能低下の方、全てに透析の適応はあります。これまで医療の現場では、本人の全身状態や家族の雰囲気から、医師がおおよそを付度してそれぞれ判断してきたと思いますが、透析非導入や透析中止の判断に法律上の免責は保証されていません。常に刑事告発の可能性を秘めています。しかし、眼前の患者さんに透析を始めたことが果たして幸せにつながったのだろうか、透析を続けることが苦痛そのものになってはいまいか、との思いにかられる瞬間があります。詳細は別として、上記の中では以下の提言を示しています：① 患者への適切な情報提供と患者が自己決定を行う際の支援、② 自己決定の尊重、③ 同意書の取得、④ 維持血液透析の見合わせを検討する状況、⑤ 維持血液透析見合わせ後のケア計画、の5つです。それでも、事前指示書を作成できない方も少なくなく、本人からの同意書の取得が難しい状況もあります。透析非導入と継続中止を考える際、患者の尊厳を大事にし、医療チームとして対応しても、まだ悩み続けているのが、透析医療の現場かなと思っています。

超高齢化社会に入りつつある今、個人の意思が尊重され尊厳が叫ばれる今、在宅での看取りが進もうとしている今、改めて透析療法の位置づけを考えるためには、各専門分野の先生方と話を交える機会があると良いのかもしれませんが、透析医療がより良い方向に進めば、と念じる次第です。



あなたできますか？

—平成28年度 医師国家試験問題より—

(解答は71ページ)

1. 左不全片麻痺で受診した62歳の男性で、症状の原因として心臓または大血管の疾患を疑わせる病歴はどれか。2つ選べ。
 - a 持続性の動悸
 - b 全身の筋肉痛
 - c 食事による症状の改善
 - d 数週間かけての緩徐な症状の出現
 - e 胸や背中あるいは首の突然の激的な痛み
2. 尿中Naの排泄低下を伴う低ナトリウム血症をきたすのはどれか。2つ選べ。
 - a 尿細管障害
 - b Addison病
 - c SIADH
 - d 肝硬変
 - e 心不全
3. eGFRを求めるために血清クレアチニン値と性別の他に必要なのはどれか。
 - a 血 圧
 - b 血 糖
 - c 体 重
 - d 尿 酸
 - e 年 齢
4. 6か月の乳児。発熱を主訴に母親に連れられて救急外来に来院した。意識は清明であるが、ぐずっている。体温 38.5℃。心拍数 144/分、整。血圧 90/60mmHg。呼吸数 30/分。SpO₂ 98% (room air)。毛細血管再充満時間 4秒と延長している。

この患児において重症感染症を示唆する所見はどれか。

 - a 体 温
 - b 心拍数
 - c 血 圧
 - d 呼吸数
 - e 毛細血管再充満時間
5. Guillain-Barré症候群の治療法として適切なものはどれか。2つ選べ。
 - a 血漿交換
 - b アシクロビル点滴
 - c ステロイドパルス療法
 - d 免疫グロブリン製剤投与
 - e ペンジルペニシリン〈ペニシリンG〉点滴
6. 急性腎不全における血液透析の適応はどれか。2つ選べ。
 - a 高リン血症
 - b 高カリウム血症
 - c 低カルシウム血症
 - d 代謝性アシドーシス
 - e 代謝性アルカローシス
7. 「若い男性が乗用車を運転中に大型貨物自動車と衝突した」と消防に通報があり、消防指令は直ちに救命救急センターにドクターカーの出動を要請した。ドクターカーが現場に到着したときには閉じこめられていた運転者を救急隊が車外に救出したところであった。意識レベルはJCS II-30。体温 36.0℃。心拍数 88/分、整。血圧 144/80mmHg。呼吸数 24/分。SpO₂ 92% (room air)。頭部に挫創を認める。右下腿骨の骨折を認める。

現場でまず行うべき処置はどれか。

 - a 気管切開
 - b 酸素投与
 - c 挫創部の縫合
 - d 腹部超音波検査
 - e 中心静脈路確保
8. 貧血とその症候の組合せで誤っているのはどれか。
 - a 悪性貧血———Hunter舌炎
 - b Evans 症候群———紫 斑
 - c 再生不良性貧血———スプーン爪
 - d 先天性溶血性貧血———胆 石
 - e 鉄欠乏性貧血———異食症
9. 患者の信頼を得るために、医師が最も心掛けるべきなのはどれか。
 - a 自身の感情を表さない。
 - b 面接の手順を厳守する。
 - c 患者の間違った考えを医学的に否定する。
 - d 患者と診療以外の場で個人的に親密になる。
 - e 病気について分からないことは分からないと認める。
10. 誤嚥性肺炎の原因微生物として頻度が高いのはどれか。
 - a 腸球菌属
 - b 放線菌属
 - c *Candida*属
 - d 連鎖球菌属
 - e *Pseudomonas*属

第1回 宮崎県 病院内メディカルラリー開催

報告者 小松 弘幸

所 属 宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会副議長
(宮崎大学医学部 医療人育成支援センター 教授)

と き 平成30年 3 月17日(土)

ところ 宮 崎 大 学 医 学 部

はじめに

2018年 3 月17日に、宮崎大学医学部で「第1回 宮崎県病院内メディカルラリー」を開催した。宮崎県内の基幹型臨床研修病院所属研修医と県内病院看護師を対象とし、日常診療で遭遇する5つの診療場面をシミュレーションで再現し、それぞれの場面での判断や初期対応を実践後、お互いに振り返り、学び合うことを目的とした企画であった。宮崎大学医学部医療人育成支援センターが主催となり、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会および宮崎県地域医療支援機構のご協力の下、県内初めての企画として実施され、非常に充実した内容となった。以下、開催目的やシナリオ内容、参加者の様子、今後の展望についてご報告する。

メディカルラリーの内容

1. 開催目的

国内外で開催されている従来のメディカルラリーでは、主に救急領域の判断や技能についてコンテスト形式で競うことが多い。本県でもこれまで、救急に従事する医師・看護師を対象としたメディカルラリーは一部の病院で実施されていた。一方、宮崎県の研修医や若手医師を対象とした、臨床能力向上に直結するような教育企画を模索していた中で、このメディカルラリー形式を踏襲したまま、対象領域を臨床研修で遭遇する場面設定とし、対象者も県内研修医と若手の看護師を中心として、ともに学び合う機会

を作ろうというのが開催契機となった。このため、1)宮崎県全体で若手医師や看護師の育成を盛り上げていきたい、2)たくさんの挑戦者がシナリオや他の医療者の行動から多くのことを学んでほしい、3)病院間・職種間の交流を深め、日頃の医療にも活かしてほしい、を「3つの願い」として掲げ、「病院内メディカルラリー」として開催することとした。

メディカルラリーの性質上、各チームの判断力や技能をスコア化し、その優劣を可視化する競技性が発生する。臨床能力の評価と競技性は本来結びつけるべきではないが、「競い合って優劣を付けることが目的でなく、その中で学び合うことが今回の最重要点」ということを参加者に十分説明することとした上で、医療現場を離れて楽しく学ぶ要素も残すため、ラリーの成績上位者を表彰するという形式で実施することとした。

2. 組織体制構築とシナリオの作成

本企画の運営は、宮崎大学医学部医療人育成支援センターを宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会と宮崎県地域医療支援機構が支援する形とし、宮崎県医師会、宮崎県、宮崎大学によるAll Miyazaki体制とした。医療人育成支援センター所属で医療シミュレーション教育統括部門長の長野健彦医師が企画・運営の実務責任者としてあるディレクターを担当した。5つの医療シミュレーション場面(以下、ステーション)のシナリオ作成とステーション設営は、基幹型

臨床研修病院所属の長嶺育弘医師(県立延岡病院・救急), 早川学医師(県立日南病院・内科), 岩谷健志医師(県立宮崎病院・救急/総合診療), 松浦良樹医師(古賀総合病院・内科), 眞川昌大医師(宮崎生協病院・内科)の5名の医師にご担当いただいた。この他, 23名の医師・看護師に各ステーションの運営スタッフとしてご協力いただき, 医療人育成センター教員6名がチューターとして参加者の誘導を担当した。

3. 参加者

医師については, 宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会を通じて, 県内基幹型臨床研修病院の研修医に参加を呼びかけた結果, 6病院より計19名(宮崎大学5名, 県立日南病院5名, 県立延岡病院2名, 宮崎生協病院4名, 古賀総合病院2名, 藤元総合病院1名)が参加した。看護師については, 上記病院に加え, 潤和会記念病院, 宮崎市郡医師会病院, 都城市郡医師会病院の9病院から計33名が参加した。

この52名を医師・看護師を均等割合として1チーム8～9名の6チームに編成した。6つのチームには当日メンバーで話し合ってもらい, チーム名を決めてもらった(チーム・シャイ, Team Gods, マンゴー, ジャイアンツ, チーム・一心, 竜太とゆかいな仲間たち)。

4. 開催スケジュール

午前9時に開会後, 最初に長野医師から急変対応・チーム医療のワンポイントレクチャーがあり, その後ice breakingを兼ねてチーム力を競う2つのミニゲームを行った(写真①)。10時～15時までは, 1ステーション35分(導入としての状況設定説明: 7分, シナリオに基づくシミュレーション実施: 15分, 実施後の解説と振り返り: 13分)のシナリオを各チーム5種類体験した(写真②～④)。以下, 各ステーションのテーマと概要をお示しする。

【ステーションA】「院内で発生した外傷」: 院内で転倒した設定の模擬患者を発見し, 頸椎損傷



に配慮しながら病室に搬送し、その後の初期評価と治療を行う。

【ステーションB】「院内での報告とコンサルテーション」：消化管出血の患者を発見した看護師から研修医へ、患者を診察した研修医から専門医へ報告とコンサルテーションを行う。

【ステーションC】「院内での心肺蘇生とその振り返り」：院内発生的心肺停止患者にチームで心肺蘇生を行い、その処置の内容についてチーム内で振り返りのカンファレンスを行う。

【ステーションD】「病状説明と検査説明」：深刻な病状を持った患者と家族に対し、分かりやすい平易な言葉で、かつ患者家族の心情に共感と配慮を持って説明する。

【ステーションE】「アナフィラキシー」：病院内で突然発症したアナフィラキシーショックの評価と初期対応を行う。

全チームがステーションをローテートした後は、シナリオ作成者による各シナリオの解説(出題のねらい、重要なポイント、今後の診療へ役立てるアドバイス)を行っていただいた。各ステーションで最もパフォーマンスが優れていたチームを表彰し、5ステーション総合評価で最も優れていたチームには表彰状と盾を授与し、参加者全員で称えた(写真⑤)。

5. 当日の様子

当日初顔合わせとなった医師と看護師のみなさんは、最初は緊張した面持ちであったが、各

ステーションでチーム医療を実践する中で、徐々に団結力と協調性が醸成され、最終的には「本物の医療チーム」となっていた。最後の集合写真では、参加者全員に充実感に満ちた笑顔が見られた(写真⑥)。

おわりに

宮崎県で初開催となった研修医と看護師を対象とした病院内メディカルラーは、参加者もスタッフも、今回の開催目的と主旨を十分理解した上で真摯にシナリオに取り組み、結果としてお互いを尊重しながら学び合う素晴らしい教育イベントとなった。今回の経験を踏まえ、今後も新たな医師・看護師スタッフを巻き込み、より実践的かつ教育的なシナリオを用意して継続開催できれば、この企画が宮崎の若手医療者を惹きつける教育的文化として定着するのではないかと期待している。



九州医師会連合会第370回常任委員会

と き 平成30年 4 月 7 日(土)

ところ ホテルオークラ福岡

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

福岡県医師会長 松田 峻一良

挨拶の中で、九州医師会連合会から九州厚生局に公開を要望していた「保険医療機関への個別指導及び適時調査において改善を求めた主な指摘事項について」九州厚生局のホームページ上に平成30年 3 月29日に掲載され、各県医師会にも文書でお知らせした旨の報告があった。

3 報 告

1) 元日本医師会長 故植松治雄先生を偲ぶ会への対応について(福岡)

4 月15日の偲ぶ会に九医連で弔電と供花を行う旨の報告がなされた。

2) その他

4 協 議

1) 2019年度(平成31年度)九州医師会連合会負担金・九州医師会医学会会費について(福岡)

今年 3 月 3 日の九医連常任委員会で協議された九州医師会連合会負担金を会員 1 人あたり年額1,500円から2,000円に、九州医師会医学会会費を会員 1 人あたり年額2,500円から2,000円に変更することが了承された。

今後、今年 8 月に開催予定の九州医師会連合会定例委員総会に今年度、九医連当番県となる鹿児島県から提案していただき、総会で承認されれば佐賀県が九州医師会連合会の当番となる年から適用になる。

2) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議及び九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会(6月2日(土)福岡市)について(福岡)



6 月 2 日15時からホテルオークラ福岡で開催することが原案通り了承された。

九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会

(1)九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について

① 理事 2 名

② 裁定委員 1 名

九医連申し合わせに従い理事については、沖縄県、鹿児島県から、裁定委員については鹿児島県から選出することが決定された。

(2)平成30年度・31年度における日本医師会代議員会の諸委員について

① 議事運営委員

② 財務委員

議事運営委員については熊本県から、財務委員については福岡県、佐賀県から選出することが決定された。

(3)第143回日本医師会臨時代議員会(6月24日(日)における質問者(ブロック代表質問及び個人質問)について 後日文書案内を行うが目途として、5

月中旬までに福岡県に提出するよう依頼された。

3) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(6月2日(土)福岡市)について(福岡)

日医各種委員会の報告希望委員会について、大分県からの提案の警察活動等への協力業務検討委員会と熊本県からの提案の医師会共同利用施設検討委員会に決定した。

4) 九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(6月22日(金), 23日(土), 24日(日)東京都内及び日医)について(福岡)

6月22日は、18時から第一ホテル東京 4

階プリマヴェーラで、6月23, 24日は日本医師会九州ブロック控室で両日とも9時から開催することが了承された。

5) 平成30年度(第40回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議(7月13日(金)那覇市)について(沖縄)

7月13日, A N A クラウンプラザホテル 沖縄ハーバービューで17時から開催することが了承された。

出席者－河野会長, 山内事務局長

4月のベストセラー (宮崎県)

集計：2018年4月1日～4月25日

1	かがみの孤城	辻 村 深 月	ポ プ ラ 社
2	おらおらでひとりいぐも	若 竹 千 佐 子	河 出 書 房
3	漫画版 君たちはどう生きるか	吉 野 源 三 郎	マガジンハウス
4	お金持ちが肝に銘じている ちょっとした習慣	菅 原 圭	河 出 書 房
5	流れの勘蔵	佐 伯 泰 英	角川春樹事務所
6	君たちはどう生きるか	吉 野 源 三 郎	マガジンハウス
7	魔力の胎動	東 野 圭 吾	KADOKAWA
8	読むだけで運がよくなる77の方法	リチャード・カールソン	三 笠 書 房
9	ラプラスの魔女	東 野 圭 吾	KADOKAWA
10	極上の孤独	下 重 暁 子	幻 冬 舎

平成29年度女性医師支援事業連絡協議会

と き 平成30年 2 月14日(水)

ところ 日 本 医 師 会 館



平成30年 2 月14日、日本医師会館において「平成29年度女性医師支援事業連絡協議会」が開催された。

はじめに、横倉日医会長より、女性医師の活躍は医療の発展に必要不可欠であり、日本医師会としても様々な団体と力を合わせ取組みを進めていくので、各医師会においてもより一層の協力を賜りたいと挨拶があった。

その後、全国6ブロックより、女性医師支援センター事業ブロック別会議の総括や特徴的・先進的な取組みの紹介が行われた。報告内容は下記の通り。

山形県・岩手県(北海道・東北ブロック)

岩手県医師会女性医部会幹事 梅邑 明子

山形県医師会常任理事 神村 裕子

秋田県、宮城県、福島県の3県がイクボス(部下のワークライフバランスとキャリアの両立を応援しながら、自らも仕事と私生活を楽しむことのできる経営者、上司)育成に取り組んでいる。岩手県では、医師会内に専従の育児支援相談員を配置するため、先行している群馬県や山口県から情報提供を受ける他、県へ要望を行うなど具体的に動き始めた。山形県医師会は、医師が

就労問題等に直面した際に力になれる組織構築に向け、医師会組織強化委員会を立ち上げた。

長野県(関東甲信越・東京ブロック)

長野県医師会常任理事 飯塚 康彦

長野県医師会勤務医委員会委員 黒川 由美

長野県では、医療従事者が子どもの急病時においても診療を続けることができるよう①医療機関の看護師や民間送迎サービス会社等が病児の病院や保育施設等への送迎を行う「病児等送迎サービス支援事業」と、②ベビーシッターが病児の送迎および自宅等での保育を行う「病児等ベビーシッターサービス支援事業」を行っている。申請した医療機関は、当該サービス導入初年度のみ、導入にかかる費用やサービス利用料に対して経費補助が受けられる。

石川県(中部ブロック)

石川県医師会理事 轟 千栄子

三重県で平成27年度から開始した「女性が働きやすい医療機関認証制度」では、これまでに17医療機関からの応募があり、8医療機関が認証を受けた。認証された医療機関からは、実際に退職者が減ったという報告を受けている。静岡県では、浜松医科大学内に女性医師支援セン

ターを設置しており、復職支援の一環として、復職希望の医師はセンターで非常勤として3年まで働くことができる。

大阪府(近畿ブロック)

大阪府医師会理事 笠原 幹司

和歌山県では、平成27年度から県の委託事業として開始した「女性医師メンター制度」を平成29年度からは医師会独自事業として実施している。現在、県内6施設7名の女性医師を女性医師メンター(助言者)として委託し、育児・介護や復職・転職、勤務環境に関することなど様々な相談に応じており、開設以来134件の相談を受けている。大阪府医師会では、基幹型臨床研修病院を対象に院内保育所等の設置状況に関するアンケート調査を行った。その結果、院内保育は9割、病児保育も5割の病院で設備されており、女性医師の就労継続が病院運営にとっていかに重要であるかを再認識した。

徳島県(中国四国ブロック)

徳島県医師会男女共同参画委員会委員長

岡田 博子

徳島県では、平成28年度に育児と介護に関するアンケート調査を実施した。回答者の内13%が介護問題に悩んでおり、23%が介護休暇を必要としつつも取得できないとしている結果を受け、「介護と仕事の両立に関する講演会」を企画

した。ソーシャルワーカーなどを講師として招き、介護についての知識を得る機会とするもので、平成29年2月以降すでに4回開催している。

大分県(九州ブロック)

大分県医師会男女共同参画委員会委員 中田 健

熊本県では、熊本県女性医師キャリアセンターの復職支援として、新たに「お留守番医師制度」を開始した。医師が訪問診療等で留守にする間の外来業務を担うもので、在宅医療の推進と復職希望医師のキャリア支援を同時に叶えるシステムである。現在3名の医師が当制度を利用し復職している。

各ブロックからの報告を受け、質疑応答・総合討論を行った後、今村日医副会長が「今後、院内保育(特に病児保育)の課題を女性医師支援センターの大きな柱として取り組んでいく一方で、医師が休める環境づくりも重要である。医師の働き方改革については、医師という職業の特殊性を考慮しながら議論を行っていくが、医療を受ける国民の理解も必要不可欠であり、医療の受け方についても提言していく」と総括し、閉会した。

出席者－荒木常任理事、糸数理事、畠中主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成30年5月1日より10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

日医インターネットニュースから

■起訴の背景に「軽率性」、大きな傾向 — 医療行為と刑事責任 —

厚生労働省は3月28日、「医療行為と刑事責任」をテーマにした有識者研究会の会合を非公開で開き、過去の医療過誤事例について「軽率性」を背景にしたものか、「未熟性」を背景にしたものかを切り口に議論した。これまでの検討から、刑事事件となった医療過誤事例の背景には軽率性がある傾向が強く、刑事事件とならなかった医療過誤の背景には未熟性がある傾向が強い可能性が浮上したため。委員間では、必ずしも全例が軽率性と未熟性で峻別できるわけではないが、大きな傾向として共有した。

研究会ではこれまで、過去20年程度の間刑事事件となった医療過誤事例280件程度と、なかった事例150件程度を分析。薬剤の取り扱いなど軽率性が背景にある事例は起訴されて刑事事件になり、技術の未熟さを背景にした事例は刑事事件化していないという全体的な傾向が見えた。厚労省は分析対象となった約430件の事例の半分程度を、軽率性と未熟性の観点で再分析し、会合に示した。

厚労省の担当者によると、会合では浮上した傾向が共有されるとともに「もう半分の事例を引き続き検討すること」や「一つ一つの事例について、どの点が軽率なのか、未熟なのかを丁寧に見ていく必要性」も共通認識となった。2つの観点は二律背反ではなく「未熟だから軽率な事故を起こした例もある」という認識も示された。（平成30年3月30日）

■テロ災害研修会を開催 — 東京五輪などに向け日医 —

2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、日本医師会は4月4日、東京・本駒込の日医会館で「CBRNE（テロ災害）研修会」を開いた。都道府県医師会の担当役員らが出席し、テロ災害時の医療対策に関する理解を深めた。

基調講演したスタンフォード大医学部、米国カリフォルニア州戦傷病研究センターのロニット・カツ氏は、米国では、保健福祉省（DHHS）がバイオテロに対する医療や公衆衛生の対応を進める上で、主導的役割を果たしてきた

と説明。バイオテロを発見し、その対応を図る上での備えを強化するため、連邦・州・地方レベルで、バイオテロ関連準備の改善に向けた戦略プランを策定したという。

戦略プランの構成要素としては▽疾病流行の発見・診断・管理能力の強化▽原因となる病原体、毒素、または一部の化学物質への暴露の特徴評価と特定方法の改善▽必要なデータと情報を迅速に転送するためのITインフラなどを紹介した。

カツ氏は、有事の際の一次対応者や医療提供者の心得にも言及した。一次対応者は「強い警戒心を維持する必要がある」と指摘。その理由として▽未知の物質を扱うことが多い▽生物兵器による襲撃の疫学的パターンに最初に気付く可能性がある▽予備の装置で狙われる可能性がある▽感染力のある患者に暴露する可能性がある—を挙げた。一次対応者になる人が、個人用防護具（PPE）の着脱方法を知っておく必要性も訴えた。

医療提供者の役割の注目点としては「公衆衛生機関に直ちに通知する必要がある」ことを挙げた。その際には「臨床的疑念がある、または推定診断の段階であっても報告する」「検査結果での確認を待つべきではない」という姿勢が必要になるとの認識も示した。

（平成30年4月10日）

■地域別診療報酬に反対姿勢 — 横倉会長 —

財務省が4月11日の財政制度等審議会・財政制度分科会で示した提言に、高齢者医療確保法（高確法）に基づく地域別診療報酬の特例の活用が盛り込まれたことについて、横倉義武会長は同日の記者会見で反対する姿勢を示した。横倉会長は「医療は社会全体で均一に維持され、誰もが等しく受益できる公共的なサービスであると同時に、社会全体の共通資産として、社会的に管理、運営される社会的共通資本だ。従って、医療は地域によって分け隔てなく、全国一律の単価で提供すべき」と強調した。

都道府県別の診療報酬設定によって、県境における患者の動きに変化をもたらし、それに伴う医療従事者の移動によって地域における偏在

が加速することで、医療の質の低下を招く恐れがあるとも指摘した。

社会保障審議会・医療保険部会で、保険者からも公平性の観点から反対表明があったことや、全国知事会長、全国市長会長代理、全国町村会長から「地域別診療報酬の特例の活用については、当該制度の創設時から、その妥当性や医療費適正化に向けた実効性には疑問があるものと考えており、慎重に対応されたい」と反対意見が出されたことも紹介した。

また日医が経済界や保険者、自治体などと協力し「日本健康会議」において、国民の健康寿命延伸に取り組んでいることに触れ「医療費はすでに2011年の予測より約3兆円下回っている」とアピール。健康寿命延伸の取り組みによって医療費が適正化されれば、都道府県別の診療報酬設定は実施する必要はないと訴えた。

(平成30年4月13日)

■大手チェーンの内部留保積み上げ批判 — 中川副会長「分業は限界」 —

4月11日に開かれた厚生科学審議会・医薬品医療機器制度部会で、医薬品医療機器法(薬機法)の見直しに向けた検討テーマの一つに挙げられた「薬局・薬剤師の在り方」を巡り、日医の中川俊男副会長が医薬分業を進めること自体を問う「そもそも論」を再び展開した。患者が利益を享受できるような分業を進めるための議論を厚生労働省が求めたのに対し、大手調剤薬局チェーンが巨額の利益を上げ、内部留保を積み上げていると批判し、「分業はそろそろ限界にきていると思う。弊害の方が目立ってきている」と切り捨てた。

中川副会長は、分業やかかりつけ薬剤師・薬局の推進に関し、「院内処方と院外処方のそれぞれのメリット、デメリットが当初言われていたものと実態がかけ離れているのではないかな。まず、こういう議論をする前に、分業を進めたことが本当に良かったのか、そういう大局的な議論をすべきだ」と指摘。理由として営利企業の大手調剤薬局チェーンが毎年、内部留保を積

み上げていることなどを挙げ、「院内処方に回歸する動きがもっとあってもいいのではないかな、そういう論点を加えるべきだ」と主張した。

(平成30年4月13日)

■応召義務、日本に特徴的な法令 — 健康・医療戦略室が自民PTで —

内閣官房健康・医療戦略室は4月13日、自民党の「外国人観光客に対する医療プロジェクトチーム(PT)」(萩生田光一座長)で、諸外国での外国人観光客を巡る医療についての現状を説明し、応召義務が日本に特徴的な法令であることなどを報告した。

内閣官房は、観光客が多い国々での旅行者に対する医療の状況を調査。それによると、緊急か否かを問わず課せられる応召義務は日本に特徴的で、韓国を除き諸外国では確認されなかった。一方、緊急時の医療対応は患者の国籍を問わず多くの国で義務となっていた。

例えば米国では「緊急事態では患者の国籍や支払い能力の有無にかかわらず、医療機関は患者の状態を安定させる必要がある」としているほか、ドイツは「医師と病院は急性期の緊急を要する患者を治療する義務を負う」となど定めている。その他の国々を含め、いずれも「緊急」が医療対応を義務とするキーワードになっている。

●国籍で保険加入の可否を分けるケースも

旅行保険については、米中韓や台湾などでは義務付けを行っていない。ただし台湾は、中国人旅行者に対しては「海外旅行保険加入済み証明書」の提出を求め、事実上無保険で入国することを認めていない。欧州では統一ルールとして、ビザ免除国(日米豪やEU各国など)の国民は旅行医療保険への加入が不要な一方、ビザが必要な中国やロシアなどの国民については加入が必須となっている。

未収金対策として、英国では緊急時を除き2017年10月から医療費を全額前払いとしている。また、500ポンド(約7万6000円)以上の未納金がある場合、未納者を入国禁止とする制度を設けている。

(平成30年4月17日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

お知らせ

平成30年度 宮崎県医師会諸会費について

平成30年度の諸会費は、宮崎県医師会会費賦課徴収規程及び会館維持管理負担金等賦課徴収規程に基づき、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

区分		A 会員 病院、診療所の開設者、管理者等	B 会員 勤務医	C 会員 医師法に基づく研修医
県医会費	均等割	月額 7,000 円	月額 3,000 円 但し宮大医師会員は 月額 1,000 円	免除
	所得割	別表①	－	－
県医会館維持 管 理 負 担 金		別表②	－	－
県医会館返済 資 金 負 担 金		別表③	－	－
入会時負担金		新規 A 会員 500,000 円 管理継承者 100,000 円 相続継承者 50,000 円	5,000 円	免除
日 医 会 費		A①会費 ※医賠償保険加入 126,000 円（年額） 第 1 期 42,000 円（ 5 月徴収） 第 2 期 42,000 円（ 8 月徴収） 第 3 期 42,000 円（12 月徴収）	A②（B）会費 ※医賠償保険加入 <u>4 月 1 日現在 31 歳以上</u> 68,000 円（年額） 第 1 期 22,000 円（ 5 月徴収） 第 2 期 24,000 円（ 8 月徴収） 第 3 期 22,000 円（12 月徴収） <u>4 月 1 日現在 30 歳以下</u> 39,000 円（年額） 第 1 期 13,000 円（ 5 月徴収） 第 2 期 13,000 円（ 8 月徴収） 第 3 期 13,000 円（12 月徴収）	A②（C）会費 ※医賠償保険加入 15,000 円（年額） 第 1 期 5,000 円（ 5 月徴収） 第 2 期 5,000 円（ 8 月徴収） 第 3 期 5,000 円（12 月徴収）
			B 会費 ※医賠償保険非加入 28,000 円（年額） 第 1 期 9,000 円（ 5 月徴収） 第 2 期 10,000 円（ 8 月徴収） 第 3 期 9,000 円（12 月徴収）	C 会費 ※医賠償保険非加入 免除

別表①(県医所得割会費)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000 万円未満	－
2	1,000 万円以上 2,000 万円未満	1,000 円
3	2,000 万円以上 3,000 万円未満	2,000 円
4	3,000 万円以上 5,000 万円未満	3,000 円
5	5,000 万円以上 10,000 万円未満	4,000 円
6	10,000 万円以上	5,000 円

別表②(県医会館維持管理負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000 万円未満	1,500 円
2	1,000 万円以上 2,000 万円未満	2,000 円
3	2,000 万円以上 3,000 万円未満	2,500 円
4	3,000 万円以上	3,000 円

別表③(県医会館返済資金負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000 万円未満	1,500 円
2	1,000 万円以上 2,000 万円未満	2,000 円
3	2,000 万円以上 3,000 万円未満	2,500 円
4	3,000 万円以上	3,000 円

※会費減免の申請について

(1) 高齢を事由とする場合

- ①県医会費は、年齢が満80歳以上で県医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ②日医会費は、年齢が満83歳以上で日本医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ③平成29年度以前に会費減免を受けた方は、申請内容(例えば医賠償保険加入の有無等)に変更がない限り、申請は不要です。

(2) 疾病の事由による場合

- ①疾病による会費減免は、診断書(写しでも可)の添付が必要です。
- ②平成29年度に会費減免を受け、平成30年度も会費減免を継続する場合、改めて申請が必要です。
この場合も診断書(写しでも可)の添付が必要です。

(3) 出産育児の事由による場合

- ①出産育児の事由による会費減免は出産が確認できる書類(写しでも可)の添付が必要です。
- ②対象会員は女性会員です。開業医・勤務医は問いません。育児休業取得・未取得は問いません。
- ③減免期間は、日医会費は出産日の属する年度の翌年度1年間です。県医会費は申請を受け付けた翌月より1年間です。

医師国保組合だより

第22回歩こう会に参加して

都城市 やま山 じ路 たけし健

平成30年 3 月25日に都城市の霧島ファクトリーガーデンで開催されました。参加人数は17世帯42名でした。

前日から母智丘の桜祭りが始まっておりました。例年この時期は雨天が多いのですが、この日は歩こう会を歓迎するかのような晴天でした。ただ、新燃岳が早朝に噴火したため、降灰で景色が白っぽくなっておりました。

記念撮影の後、志比田増設工場での工場見学です。本格焼酎霧島がどのようにできるのか。白霧島と黒霧島の違いとか赤霧島の芋の違いなど説明がありました。また、「本格焼酎」の名付けの親は2代目社長の江夏順吉だそうです。また1日に焼酎1升瓶で16万本生産されているようです。

工場見学の後、霧の蔵ホールに移動し宮崎大学医学部附属病院の宮崎先生の指導の元、ロコモ体操を1時間ほど行いました。1)立ち上がりテストは40cm, 30cm, 20cm, 10cmと実際に準備され全員実施。片脚での立ち上がりはかなり厳しい結果でしたが、子どもたちはスーッと片脚立ちしていたのには驚きと自分の衰えに多少なりショックを受けました。2)2ステップテストも実地してロコモ度判定を行いました。その後、スクワットや股割り・開眼片脚立ちなどを行い、たっぷり筋力を使いました。バランス(重心)が大切だと感じた時間でもありました。日頃から毎日数分ずつでも体操を行っていれば健康寿命が伸びるでしょう。

霧の蔵ブルワリーに移動して地ビールを飲みたい方は飲みながらの昼食でした。

昼食後は母智丘の桜を見に行きました。この時期桜が咲いているだろうかと心配していましたが、気温も暖かく満開の桜を見ることができました。こんなことなら桜並木をウォーキング



霧島ファクトリーガーデン内に「採るな!」と書かれていたタケノコ。見事撮りました!



母智丘公園は桜が満開で、大賑わいでした。

してお弁当食べたかったなあ!と思うのは私だけでしょうか?こればかりは仕方ないですね。雨の多いこの時期の計画は難しいです。スタッフの皆さんのご苦勞・気苦勞が伺えます。

都城市には高崎町の観音池公園があり、ここにも桜が咲いています。三股町にある上米公園もお勧めです。他にもあるのですが検索してみてください。

今回で6回目の参加ですが、来年も参加したいと思います。その時まで皆様、毎日ロコモ体操してお元気で!



霧島ファクトリーガーデンにて参加者全員で撮りました。

医師国保からのお知らせ

<健康診断個人票や各種申請書について>

平成29年度中に当組合の各種保健事業を実施された組合員及び該当するご家族の方で、健康診断個人票や各種申請書をまだ提出されていない方は、平成30年 5 月25日(金)が提出締切となっております。期日を過ぎますとお支払いできませんので、提出漏れにご注意ください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL : 0985-22-6588 FAX : 0985-27-6550

※ 各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保組合だより**平成29年度 宮崎県医師国民健康保険組合第118回通常組合会**

と き 平成30年3月1日(木)

ところ 県 医 師 会 館

去る3月1日に第118回通常組合会が開催され、規約の一部改正(案)、平成30年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、給付費支払準備金積立金の処分、法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)についての5議案が上程され、全て可決承認された。

1. 報 告

会務については、平成29年4月から組合会までの関係団体諸会議、当組合理事会および委員会に関する事項を報告。広く業務については、被保険者・保険料に関する事項、療養の給付状況、保健事業の実績を報告。平成29年度歳入歳出決算見込みについては、繰越金・繰入金を除く単年度収支として約7,700万円の赤字決算の見通しと報告した。

2. 協 議

議案第1号「規約の一部改正案」に関連するため、協議事項として「来年度の保険料賦課額」および「組合会議員の各選挙区選出議員数の変更」について説明した。来年度の保険料賦課額については、当組合・協会けんぽ・市町村国保3保険者の保険料比較表、当組合過去3ヶ年歳入歳出決算状況の推移・平成29年度歳入歳出決算見込、九州各県医師国保組合保険料状況を資料として説明し、当組合財政の安定化および運営の健全化を図るため、高齢者関係の拠出金負担に対する平成30年度の保険料賦課額の見直しを提案した。また、組合会議員の各選挙区選出議員数の変更については、平成7年の各選挙区組合会議員定数の

見直し以降、各選挙区組合員数の割合に変化が生じている。今後組合会において、当組合の将来のあり方など重要案件について組合会議員からの意見を的確に集約するうえで、組合員数の割合に応じて各選挙区選出の議員数を改める必要があるため、各選挙区選出議員定数を算出する細則案を提案した。

3. 議案第1号 規約の一部改正(案)について

「組合会議員の選挙並びに選挙区」、「保険料の賦課額」および国民健康保険法施行令変更に伴う条文等の修正による規約の一部改正案について説明し、原案どおり可決承認された。なお、改正された内容については、「平成29年度事業報告書・医師国保組合格約」にて報告する。

4. 議案第2号 平成30年度事業計画(案)について

国庫補助金の段階的削減、保険給付および後期高齢者支援金等の増加に伴う厳しい財政運営の中で、前年度事業計画を踏襲している。平成30年度の重点事業としては、被保険者の加入促進および当組合員資格に関する判定基準等に従い、全被保険者の資格確認を実施する。また、保険者の疾病予防や健康づくりへの取組に対するインセンティブが見直されることから、保険者インセンティブの評価指標への取組として保険者機能の強化を行う。具体的には、データヘルス計画の実施、特定健診・特定保健指導、がん検診受診率の向上、糖尿病性腎症重症化予防への取組を行うなど

事業計画案を説明し、原案どおり可決承認された。

5. 議案第3号 平成30年度歳入歳出予算(案)について

歳入については、保険料が3億5,981万円余りで、歳入合計の約67%を占めている。国庫支出金は、医師国保組合に対する定率国庫補助率が平成32年度まで段階的に13%まで削減されるため、補助率は前年度から3.8%減額された20.6%での算出になり、7,295万円余りで約13%、繰越金は5,530万円で約10%の比率となっている。また、繰入金は平成30年度定率国庫補助率削減による補助金の減収見込額を3,300万円と試算し、給付費支払準備金積立金から繰入する。歳出については、保険給付費が2億6,274万円余りで歳出合計の約49%、後期高齢者支援金等が約16%、介護納付金が約9%占めている。保健事業費は2,473万円で、予備費は、高額レセプト請求による療養費支払い等への備えのため2,316

万円余りを計上した。歳入・歳出とも合計5億3,766万2千円の予算(前年度予算比約4.2%減)について説明し、原案どおり可決承認された。

6. 議案第4号 給付費支払準備金積立金の処分について

定率国庫補助率削減措置に伴い、給付費等支払準備金の法定積立超過額分の一部を処分し一般会計への繰り入れを行い、その削減される減収額分の財源に充てることが可決承認された。処分金額は3,300万円で、処分後の保有額は、3億955万3,910円。

7. 議案第5号 平成30年度宮崎県医師国民健康保険組合法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画について

平成30年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画を説明し、原案どおり可決承認された。

組合会議員定数 30名

出席組合会議員 20名

1 番 市 来 能 成	13 番 出 水 善 文
2 番 内 田 攻	14 番 野 邊 俊 文
3 番 神 尊 敏 彦	15 番 大 岐 照 彦
4 番 田 崎 高 伸	21 番 大 久 保 史 明
5 番 田 中 宏 幸	22 番 水 野 智 秀
6 番 谷 口 二 郎	23 番 坂 田 師 隣
7 番 玉 置 昇	25 番 岡 村 武 志
8 番 原 田 雄 一	26 番 立 山 洋 司
10 番 福 永 隆 幸	28 番 堀 英 昭
12 番 武 田 信 豊	30 番 水 田 能 久

出席理事 9名

理 事 長	秦 喜 八 郎
副 理 事 長	大 坪 睦 郎
常 務 理 事	高 橋 政 見
常 務 理 事	佐 々 木 究
理 事	高 村 一 志
理 事	川 野 啓 一 郎
理 事	佐 藤 信 博
理 事	糸 数 智 美
理 事	花 田 武 浩

出席監事 2名

監 事	棚 田 敏 文
監 事	山 路 健

平成30年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

(単位：円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 国民健康保険料	1. 国 民 健 康 保 険 料	359,814,000	66.92%
2. 一部負担金	1. 一 部 負 担 金	1,000	0.00%
3. 国庫支出金		72,953,000	13.57%
	1. 国 庫 負 担 金	1,601,000	(2.19%)
	2. 国 庫 補 助 金	71,352,000	(97.81%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前 期 高 齢 者 交 付 金	2,000	0.00%
5. 県支出金	1. 県 補 助 金	2,000	0.00%
6. 共同事業交付金	1. 共 同 事 業 交 付 金	16,200,000	3.01%
7. 財産収入	1. 財 産 運 用 収 入	300,000	0.06%
8. 繰入金	1. 繰 入 金	33,004,000	6.14%
9. 繰越金	1. 繰 越 金	55,300,000	10.29%
10. 諸収入		86,000	0.02%
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	(1.16%)
	2. 預 金 利 子	40,000	(46.51%)
	3. 雑 入	45,000	(52.33%)
歳 入	合 計	537,662,000	100.00%

(歳 出)

(単位：円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 組合会費	1. 組 合 会 費	6,200,000	1.15%
2. 総務費	1. 総 務 管 理 費	47,780,000	8.89%
3. 保険給付費		262,742,000	48.87%
	1. 療 養 諸 費	231,900,000	(88.26%)
	2. 高 額 療 養 費	26,001,000	(9.90%)
	3. 移 送 費	1,000	(0.00%)
	4. 出 産 育 児 諸 費	840,000	(0.32%)
	5. 葬 祭 諸 費	1,200,000	(0.46%)
	6. 傷 病 諸 費	2,800,000	(1.07%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後 期 高 齢 者 支 援 金 等	90,007,000	16.74%
5. 前期高齢者納付金等	1. 前 期 高 齢 者 納 付 金 等	15,506,000	2.88%
6. 老人保健拠出金	1. 老 人 保 健 拠 出 金	0	0.00%
7. 介護納付金	1. 介 護 納 付 金	46,600,000	8.67%
8. 共同事業拠出金等		20,923,000	3.89%
	1. 共 同 事 業 拠 出 金	16,310,000	(77.95%)
	1. 共 同 事 業 負 担 金	4,613,000	(22.05%)
9. 保健事業費		24,730,000	4.60%
	1. 特定健康診査等事業費	3,040,000	(12.29%)
	2. 保 健 事 業 費	21,690,000	(87.71%)
10. 積立金	1. 積 立 金	5,000	0.00%
11. 組合債費	1. 組 合 債 費	1,000	0.00%
12. 諸支出金	1. 償還金及び還付加算金	2,000	0.00%
13. 予備費	1. 予 備 費	23,166,000	4.31%
歳 出	合 計	537,662,000	100.00%

お知らせ

宮崎県医師会・医師国保組合・
医師協同組合事務局職員配置

平成30年4月1日付の人事異動による新しい配置をお知らせします。

所 属	役 職 名	氏 名
医 師 会	事 務 局 長	山 内 武 則
総 務 課	次 長 兼 課 長	竹 崎 栄一郎
	課 長 補 佐	湯 浅 和 代
	主 事	畠 中 まどか
	主 事	黒 木 亮 佑
	臨 時	松 浦 智 子
経 理 課	課 長	松 本 優 美
	係 長	渡 邊 純 子
	係 長	串 間 恵 子
	主 事	堀之内 遥
学 術 広 報 課	課 長	牧 野 諭
	課 長 補 佐	鳥井元 進 一
	主 事	横 山 葵
	主 事	本 崎 礼 子
	主 事（特別嘱託）	立 山 幸 恵
	嘱 託	河 野 和 子
治 験 促 進 セ ン タ ー	業 務 課 長	輝 波 子
地 域 医 療	課 長	久 永 夏 樹
	課 長 補 佐	野 尻 早 苗
	主 事	田 崎 圭一郎
	主 事	福 田 里 紗
	主 事	山 本 桃 子
	嘱 託	平 川 ゆう子
医 師 国 保	事 務 局 長	山 内 武 則
	事 務 長 心 得	杉 田 秀 博
	係 長	堀 口 美 香
	主 事	眞 竹 尚 子
医 師 協 同 組 合	事 務 局 長	山 内 武 則
	事 務 長 兼 保 険 課 長	小 川 道 隆
	事 務 次 長 兼 購 買 課 長	與 俊 弘
	課 長 補 佐	大 野 正 博
	係 長	永 田 彰 子
	係 長	安 井 順 子
	主 事（特別嘱託）	吉 田 通 子
	主 事（特別嘱託）	宗 守 沙 樹



平成30年 3 月 6 日(火)第32回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託医の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼があり, 精神, 肢体不自由, 内部障害の嘱託医について, 再任の方向で現職の意向を確認し, 推薦を行うことが承認された。

②宮崎県地域医療構想調整会議委員の推薦について

→新たに設置される調整会議で, 地域医療担当の池井常任理事は全日本病院協会宮崎県支部から推薦されていることから, 県医師会から富田副会長と石川常任理事を推薦することが承認された。

2. 平成30年度事業計画について(再)

先週に引き続き具体的事項の確認が行われ, 再度修正を加えると共に, 軽微な変更は河野会長一任として, 3月13日の法定理事会に提出することが承認された。

3. 役員改選等のスケジュールについて

5月22日(火)に役員選挙を行う臨時代議員会, 6月16日(土)に決算を承認する定例代議員会を開催するよう3月13日の法定理事会に提出することが承認された。

4. 3/14(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる監査で, 立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

(報告事項)

1. 2月末日現在の会員数について
2. 3/3(土)(福岡)九医連常任委員会について
3. 3/5(月)(県医)医療安全対策セミナーについて
4. 3/5(月)(日医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
5. 3/3(土)・4(日)(福岡)九医連各種協議会合同次期診療報酬改定・介護報酬改定に関する講演及び九医連第2回各種協議会について
6. 2/28(水)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について
7. 3/6(火)(県医)治験審査委員会について
8. 3/4(日)(福岡)レジナビフェアin福岡について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 2/22(木)(東京)救急医療に関する議員勉強会について

平成30年 3 月 13 日(火)第12回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で, 県本庁嘱託医2名と郡部福祉事務所精神科嘱託医5名の計7名(一部重任)について, 県精神科医会及び県内科医会並びに現職の再任の意向が確認できたことから, 引き続き嘱託医をお願いすることが承認された。

②介護給付費等審査委員会の審査委員(サービス担当者代表・市長村代表・公

益代表)の推薦について

→介護給付費等請求書の適正な審査に資することを目的に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元・金丸・石川常任理事を推薦することが承認された。

③県国民健康保険運営協議会委員の推薦について

→国民健康保険法に係る県内の統一的な運営方針や重要事項を審議するために設置された協議会で、引き続き佐藤理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①11/10(土)(県歯科医師会館)「第40回虫歯予防全国大会 in MIYAZAKI」名義後援のお願いについて

→「健康歯援～フッ化物によるむし歯予防をすべての子どもたちに～」をテーマに開催される全国大会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 業務委託について

①平成30年度広域予防接種業務委託契約の締結について

→定期予防接種対象者が圏域を越えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、ワクチン単価(平均値)を一部変更した県内統一の39種類の接種料及び事務手数料予診票1件あたり200円で契約を締結することが承認された。

②平成30年度高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について

→対象高齢者が圏域を越えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、ワクチン単価(平均値)を一部変更した県内統一の接種料金7,713円(ただし市町村で異なる自己負担額あり)及び事務手数料予診票1件あたり200円で契約を締結することが承認された。

4. 3/23(金)(東京)平成29年度都道府県在宅医療・介護連携担当者会議の開催について

在宅医療・介護連携推進事業の推進に向けた今後の取り組みと都道府県の役割等について協議される担当者会議で、石川常任理事が出席することが承認された。

5. 5/16(水)(日医)平成30年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の開催について

勤務医の抱える諸問題に関し、地域の実情を踏まえ、より実態に即した現状を把握・検討するために開催される連絡協議会で、岩村理事が出席することが承認された。また、テーマが「医師の働き方改革」、「新たな専門医の仕組み」であることから、役員の意見を募ることとなった。

6. 母体保護法指定医師の更新申請及び研修機関の指定申請について

県医師会母体保護法に関する規程等で2年毎の更新が定められている母体保護法指定医について、48名の更新が承認された。また、研修機関として、県立延岡病院を指定することが承認された。

(報告事項)

1. 3/9(金)(日医)日医学術推進会議について

2. 3/13(火)(宮大医学部)宮大医学部附属病院医師研修管理委員会について

3. 3/7(水)(日医)都道府県医療事故調査等支援団体等連絡協議会合同協議会について

4. 3/12(月)(宮観ホテル)県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会(三者協議会)について

5. 3/7(水)(県医)都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会について

6. 3/9(金)(県医)医療機関経営セミナーについて

7. 3/9(金)(県庁)県准看護師試験委員会について

8. 3/9(金)(県庁)県地域・職域連携推進協議部会について

9. 3/8(木)(宮崎市男女共同参画センター)みやざき子育てサポート連絡会議について

10. 3/10(土)(県医)臨床検査精度管理勉強会について
11. 3/11(日)(日医)日医学校保健講習会について
12. 2/15(木)(県庁)県献血推進協議会について
13. 3/1(木)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
14. 2/28(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
15. 3/9(金)(県医)都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会について
16. 2/19(月)(県医)県口コモティブシンドローム対策協議会について
17. 3/2(金)(県医)勤務医部会理事会・後期講演会について
18. 2/20(火)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について
19. 2/8(木)(宮崎市)社会保険医療担当者の個別指導について
20. 3/3(土)(福岡)九医連医療情報システム担当理事連絡協議会について
21. 3/6(火)(県医)母体保護法指定医師審査委員会について
22. 3/7(水)(県医)医学会誌編集委員会について

(議決事項)

1. 4/22(日)(MRTmicc)参議院議員長峯誠政経セミナーのご案内について

自民党参議院政策審議会会長の武見敬三参議院議員を講師に招き開催される政経セミナーで、県医師連盟として協力することが承認された。

(報告事項)

1. 自見はなこ参議院議員のポスターについて

平成30年 3 月20日(火)第33回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 九州医師会連合会・医学会の会費について
ここ数年の九医連諸会議の増加状況を踏

まえ、鹿児島県医師会から提案された九医連負担金(現在1,500円)と九医学会費(現在2,500円)の負担割合の変更について、本県として、総額を変えず変更する案に賛成することが承認された。

2. 平成30年度妊婦及び乳児健康診査並びに審査事務に係る委託契約単価について

妊婦健診108,410円(計14回:全額公費と一部公費の2つの契約形式)、乳児健診5,875円(1回)、審査事務費51円(1件)で契約することを市町村に提案することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦について

→肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的として設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き弘野修一先生と北村亨先生を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①7/16(月)・祝(メディキット県民文化センター)日野原重明さん追悼記念コンサートの後援名義使用について

→日野原重明先生のご遺族の意向もあり、「ベー・チェチョル テノールコンサート～あなたと一緒に愛をうたう」と題して、宮崎県と東京都で開催される追悼コンサートで、名義後援を行うことが承認された。

5. 3/30(金)(宮観ホテル)各郡市医師会(連盟)役員連絡協議会について

昨年、世界医師会長(アジア大洋州医師会連合会長)に就任した日医横倉会長をお招きし、「日本医師会の医療政策」をテーマに開催される連絡協議会で、当日の出席者及びスケジュール等の確認が行われた。

6. 3/29(木)(県庁)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、峰松理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 業務委託について

①平成30年度県立学校健康管理医報酬額について

→教職員の健康管理に対する報酬で、1校あたりの職員数に応じて区分されており、昨年と同額とすることが承認された。なお、この件の検討も含め県教育委員会と会合を持つこととなった。

8. 予防接種後健康状況調査事業の実施医療機関の推薦について

DPT-IPV及びインフルエンザワクチンの実施医療機関辞退に伴い、県小児科医学会及び県内科医学会に後任の推薦を依頼することが承認された。

9. その他

①人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて
→今年3月に改定されたガイドラインに、意見が分かれた時、「複数の専門家からなる話し合いの場の設置」で検討することが求められているが、小規模な医療機関での設置は難しく、県医師会として対応できないか、情報を収集すると共に継続的に検討することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/14(水)(支払基金)支払基金幹事会について

3. 3/15(木)(県医)県アイバンク協会理事会について

4. 3/19(月)(県庁)総合確保基金知事要望について

5. 3/20(火)(宮大)宮大経営協議会について

6. 3/14(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について

7. 3/16(金)(東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)ヒアリングについて

8. 3/14(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監

査について

9. 3/16(金)(県庁)県防災会議について

10. 3/19(月)(県医)各都市医師会社会保険担当理事連絡協議会について

11. 3/20(火)(県医)治験理事会について

12. 3/15(木)(県医)広報委員会について

13. 3/17(土)(宮観ホテル)ふれあいパーティーについて

14. 3/14(水)(県医)県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について

15. 3/17(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会について

16. 3/19(月)(県庁)県地域医療対策協議会、県地域医療支援機構代表者会議、宮大医学部地域医療・総合診療医学講座運営・支援協議会について

17. 3/14(水)(日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 県医師連盟常任執行委員会について

主に平成30年度の事業計画及び収支予算を審議する常任執行委員会で、3月30日(金)18:30から宮観ホテルで開催することが承認された。

(報告事項)

1. 3/17(土)(JA-AZM)自民党宮崎県支部長会について

平成30年3月27日(火)第34回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県准看護師試験委員の推薦について
→任期満了に伴う推薦依頼で、現委員の立元・荒木・佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 6/30(土)(日医)第10回全国医師会事務局
連絡会研修会の後援及び職員派遣等につ
いて

→「繋がろう。これからの10年とその先
へ。～しらぬいのキセキ～」をテーマに
開催する研修会で、名義後援を行うこと
が承認された。また、職員の派遣につ
いては、会長一任とすることとなった。

- ② 8/5(日)(宮崎市清武文化会館)「第8回い
のちの講演会」名義後援の申請について

→「育み はぐくまれ～言葉には命が
宿っている～」をテーマに開催される講演
会で、名義後援を行うことが承認された。

- ③ 10/27(土)・28(日)(宮崎市民プラザ)第26回
日本物理療学会におけるご後援の願
いについて

→「選ぶ! 使える! 物理療法スタンダー
ド」をテーマに開催される全国大会で、
名義後援を行うことが承認された。

3. 資金運用について

3月30日に満期を迎える資金について、
宮崎銀行及び大和ネクスト銀行の定期に預
け入れることが承認された。

4. 会費減免申請について

疾病によるもの1名(日医・県医)及び高
齢によるもの2名(日医1名、県医1名)の
会費減免が承認された。

5. 審査委員の推せんについて

審査員2名の辞任に伴う推薦依頼があ
り、県産婦人科医会及び県整形外科医会に
後任の人選を依頼することが承認された。

6. 県医師会広報委員会の委員について

広報委員会の委員は、平成30年3月31日
で任期満了となるため、4月1日から12名
の委員の内3名の委員が交代し、新たな広
報委員会としてスタートすることが承認さ
れた。

7. 4・5月の行事予定について

4月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/22(木)(県庁)県地域医療構想調整会議に ついて

3. 3/24(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連 絡協議会常任委員会・運営委員会について

4. 3/22(木)(県医)医家芸術展世話人会について

5. 3/23(金)(県庁)県移植推進財団理事会につ いて

6. 3/22(木)(県医)都道府県医師会介護保険担 当理事連絡協議会復講について

7. 3/25(日)(日医)九州ブロック日医代議員連 絡会議について

8. 3/25(日)(日医)日医臨時代議員会について

9. 3/24(土)(県医)ICLS指導者養成ワーク ショップについて

10. 3/25(日)(県医)ACLS研修会について

11. 3/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方 社会保険医療協議会宮崎部会について

12. 3/23(金)(県医)広報委員会について

13. 3/24(土)(シーガイア)病院部会・医療法人 部会医療従事者研修会について

14. 3/23(金)(東京)都道府県在宅医療・介護連 携担当者会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 4/17(火)(東京)参議院議員自見はなこ次世 代の医療政策を考える会について(自見は なこ後援会長他より)

自民党厚生労働部会長の橋本 岳 衆議院
議員を講師に招き開催される会で、協力す
ることが承認された。

(報告事項)

1. 3/23(金)(宮観ホテル)羽生田国会議員との 面談について

追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

の むらとしあき
野 村 敏 彰 先生

(昭和4年7月3日生 88歳)

弔 辞

ここに、今は亡き野村敏彰先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生はかねてより療養中のところ3月19日にお亡

くなりになられました。今、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げることになろうとは、私共医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましてや、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

先生は、昭和4年7月3日に生をうけられました。医学の道を志になり、昭和30年、熊本大学医学部をご卒業されました。昭和36年には熊本大学大学院医学研究科をご卒業されまして医学博士を授与されています。その後延岡に戻られまして、黒瀬病院勤務を経て、昭和40年に野村内科医院を開業されました。2年後には野村病院と名称を変更され、今は亡き、ご令弟である野村英輔先生、現院長でご子息である野村郁夫先生とともに、地域住民の要望にお応えになられて今日まで診療に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者様からの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力されながら、公衆衛生、地域医療についても深い関心と信念を持たれ、延岡の代表的な内科医として絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

先生はご多忙な診療の傍ら昭和63年に日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医を取得され、平成元年には日本リハビリテーショ

ン病院施設協会評議員、平成14年には宮崎県地域リハビリテーション広域支援センター長に就任され、地域住民のリハビリテーション支援体制整備推進に多大なるご尽力を注がれました。

さらには、昭和40年から、延岡市立方財小学校の校医として長きにわたり保健衛生と健康管理の指導教育に多大なるご尽力を賜りました。また、平成11年からは九州保健福祉大学の非常勤講師も務められ教育の場においてもご活躍されています。

これらのご功績により昭和60年には学校保健学校安全延岡市学校保健会長表彰、平成14年には救急医療事業功労県知事表彰、平成18年には救急医療事業厚生大臣表彰、平成23年には学校保健学校安全県教育長表彰、平成25年には公衆衛生事業功労県知事表彰と、数多くの輝かしい功績を残されておられます。

このような延岡市医師会の重鎮としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり痛恨の極みであります。先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、後継者の郁夫先生が立派にご活躍され、今後も医師として先生のご遺志に沿って必ずや地域医療のために貢献されるものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘れることなく、先生のお示しいただきました医療、更には医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます。黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

野村敏彰先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成30年 3 月22日

延岡市医師会

会長 吉 田 建 世



ご 案 内**平成30年度 第75回宮崎県医師会総会**

と き 平成30年 6 月16日(土)17：00 ～

ところ 宮崎県医師会館 2階研修室

第75回総会を開催し、各種表彰を行いますので、是非ご出席ください。

次 第

1 開 会

2 物故会員に対する弔意黙祷

3 県医師会長挨拶

4 役員紹介

5 来賓祝辞及び来賓紹介

6 各種表彰祝賀

7 閉 会

※クールビスでの開催となります。

お知らせ**第19回宮崎県医師会医家芸術展会期について**

平成12年より毎年開催されている宮崎県医師会医家芸術展ですが、今年度は県立美術館の補修工事の影響で8月に開催ができなくなったことにより、平成31年 3 月27日(水)から31日(日)の5日間で開催することとなりました。

今年度の作品の募集開始は11月末頃を予定しておりますので、会員及びご家族皆様からのご出展を心よりお待ち申し上げます。

なお、翌年度の第20回につきましては、例年どおり 8 月中の開催予定です。第19回が終わってから第20回開催までの期間が約 4 か月と大変短くなっております。第20回も例年と変わらず多彩な作品が展示され、盛大に開催されますよう、第19回と並行して作品のご準備をよろしくお願い申し上げます。

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年 4 月11日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	4	2	2
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
消化器内科	1	0	1

2. 斡旋成立件数 62人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平成30年度	0	0	0
平成16年度から累計	46	16	62

3. 求人登録 90件 341人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	99	76	23	消化器外科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	16	14	2	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	12	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	7	4	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	11	8	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	341	266	75

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内,胃内,消内,呼内,循内 (いずれか)	1	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230190	稲原眼科医院	日 向 市	眼	1	非常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外, 眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年 4 月11日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医)崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 1,400.48㎡(424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医)社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医)崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 829.40㎡(251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医)社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：_____

ご所属：_____

TEL：_____ FAX：_____

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 4 月24日

5			月			
1	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第4回常任理事協議会	19	土	14:00 (日医)都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会・学術大会 14:30 産業医研修会	国
2	水					
3	木	(憲法記念日)	20	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会	保 審 査
4	金	(みどりの日)	21	月	19:00 広報委員会	
5	土	(こどもの日)				社
6	日		22	火	18:30 第1回理事会 終了後 第2回全理事協議会 19:00 県医臨時代議員会	
7	月					保 審 査
8	火	19:00 第5回常任理事協議会	23	水	13:00 (東京)全国医師国保組合連合会代表者会	
9	水	16:00 支払基金幹事会	24	木	14:30 宮大学長選考会議	
10	木		25	金	19:00 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会 19:00 認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)	社
11	金	10:30 地域医療現場における働きやすい環境を考える会				
12	土		26	土	7:00 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会 13:00 (高知)男女共同参画フォーラム 16:00 死体検案研修会	保 審 査
13	日	13:30 県小児科医会総会・春季学術講演会				
14	月	19:00 広報委員会 19:30 県糖尿病対策推進会議小幹事会	27	日	8:30 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会 13:00 (東京)全国有床診療所連絡協議会役員会	
15	火	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 第6回常任理事協議会				社
16	水	13:30 (日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	28	月	18:30 県医監事監査 19:00 県内科医会理事会	
17	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	29	火	19:00 第7回常任理事協議会	
18	金	18:30 医協会計監査	30	水	15:00 労災診療指導委員会	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	木	15:00 (日医)日医医療IT委員会 15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19:00 医師国保組合理事会	

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 4 月24日

6			月		
1	金		15	金	15：00 (福岡)九州ブロック医師の育成 を考える会総会
2	土	15：00 (福岡)九医連常任委員・次期会 長合同会議 16：10 (福岡)九医連常任委員・次期日 医代議員協議会 16：10 (福岡)九州ブロック日医代議員 (含・次期)連絡会議	16	土	14：30 医協通常総代会 15：05 県医連執行委員会 15：30 県医定例代議員会 16：00 第3回理事会 16：15 県医臨時代議員会 17：00 県医総会
3	日	医療メディエーター研修会(導 入編)	17	日	
4	月	18：30 勤務医部会監査 19：00 勤務医部会理事会	18	月	
5	火	18：00 治験審査委員会 18：30 第2回理事会 終了後 第3回全理事協議会	19	火	19：00 第9回常任理事協議会
6	水		20	水	19：00 産業医部会理事会
7	木	15：00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 17：30 宮大医学部附属病院マッチング 説明会&県内基幹型臨床研修病 院説明会	21	木	
8	金	13：30 (日医)都道府県医師会組織強化 担当役職員連絡協議会	22	金	(東京)九州ブロック(次期) 日医代議員懇談会 19：00 広報委員会
9	土		23	土	9：30 (日医)日医定例代議員会 16：00 県専門研修合同説明会
10	日		24	日	9：30 (日医)日医定例代議員会
11	月	19：00 広報委員会	25	月	13：30 宮大経営協議会
12	火	19：00 第8回常任理事協議会	26	火	19：00 第10回常任理事協議会
13	水	16：00 支払基金幹事会	27	水	15：00 労災診療指導委員会
14	木	15：00 (千葉)全国国保組合協会通常総会 19：30 県産婦人科医会常任理事会	28	木	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			29	金	18：40 勤務医部会総会 19：00 勤務医部会前期講演会
			30	土	14：30 産業医部会総会・研修会 (TV会議)

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第126回 宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 5月9日(水) 18:45～20:30 宮崎観光ホテル	傷害血管壁の病態から動脈硬化性疾患治療を考える —PCIから再生医療まで— 獨協医科大学心臓・血管内科 主任教授 井上 晃男	15 (1.0)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
第117回 江南医療 連携の会症例検討 会 5月10日(木) 19:00～20:45 宮崎江南病院	当院における後期高齢者橈骨遠位端骨折の治療成績と 問題点 宮崎江南病院整形外科 甲斐 糸乃	77 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎0985-52-4004
	最近の大腸手術症例 宮崎江南病院外科 秦 洋一	53 (0.5)	
	冠動脈CT始めました 宮崎江南病院内科 福井 喜朗	42 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 5月11日(金) 19:00～21:00 県医師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		76 (0.5)	
		82 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 小児科医会総会・ 春季学術講演会 5月13日(日) 13:30～17:00 県医師会館	日向市に開業して経験した心に残る症例 こどもクリニックたしろ 院長 田代 慎二郎	12 (0.5)	◇主催 宮崎県小児科医会 (連絡先) 宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100
	当院のアレルギー診療から見えてきたもの 宮崎生協病院小児科 科長 山元 広己	16 (0.5)	
	子どものための心理的応急処置 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン プログラム オフィサー 赤坂 美幸	72 (1.0)	
	診療所で行っている小児在宅医療 ー在宅Dr.ネットを利用しながらー しもむらクリニック 院長 下村 千枝子	80 (1.0)	
Future of Neurology Forum 5月14日(月) 19:00～21:00 宮崎観光ホテル	ニューロパチーの診断と治療：現場で役立つ実際のマ ネジメント 千葉大学医学部附属病院神経内科 准教授 三澤 園子	45 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763 日本製薬(株)
	運動ニューロン疾患に対する循環型トランスレーショ ナルリサーチ 名古屋大学医学系研究科神経内科学 教授 勝野 雅央	19 (0.5) 49 (0.5)	
宮崎市郡産婦人科 医会5月総会・乳 がん検診講演会 5月14日(月) 19:30～21:00 県医師会館	乳房超音波診断ガイドラインの要点 宮崎県立宮崎病院外科 医長 植田 雄一	9 (0.5) 11 (0.5) 乳	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡内科医会 学術講演会 5月15日(火) 19:00～20:50 宮崎観光ホテル	糖尿病性腎症の治療はeGFR30までで決まる ーそれまでどう診るかー 仁医会病院 理事長 阿部 克成	67 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第25回児湯内科医 会学術講演会 5月15日(火) 19:10～20:10 ホテル四季亭	慢性腎臓病合併糖尿病の治療ー重症化予防のためにー 宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座 助教 宮崎県立延岡病院内科 医長 戸井田 達典	73 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 田辺三菱製薬(株) 第一三共(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
宮崎県医師会産業 医研修会 5月17日(土) 19:00～21:00 県医師会館	企業における受動喫煙防止対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学看護学部 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会・第54 回宮崎県北地区整 形外科医会学術講 演会 5月18日(金) 19:00～21:10 エンシテイホテル 延岡	当院における変形性関節症のデュロキセチン使用経験 獅子目整形外科病院 院長 獅子目 亨 ―― 関節リウマチに対する外科治療 宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 講師 濱田 浩朗	62 (0.5) 73 (0.5) 19 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県北地区整形外科医会 ◇共催 延岡医学会 塩野義製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
高齢者のための Kampo Seminar ーこれからの高齢 化社会に漢方をど う活かしていくか ー 5月18日(金) 19:00～21:00 JA-AZMホール	高齢者医療における抑肝散と人参養栄湯 けいめい記念病院 副院長 岡原 一徳	83 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※宮崎県精神科病院協会 ☎0985-60-2671 (株)ツムラ
	臨床全科で遭遇する不安やうつ，せん妄や認知症の治 療や対応のコツ 島根大学医学部 特任教授 堀口 淳	68 (1.0)	
宮崎在宅医学会学術 講演会ー在宅医療 の実践ー 5月19日(土) 14:30～16:10 シーガイアコンベン ションセンター	認知症における早期診断と早期治療の重要性 ー地域での多職種連携を踏まえてー 久留米大学医学部神経精神医学講座 准教授 小路 純央	80 (0.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763
	在宅点数丸わかりーレセプト道場in宮崎ー さくらのクリニック 院長 鷺坂 英輝	13 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 5月19日(土) 14:30～16:30 県医師会館	産業医冥利に尽きる効果的な快適職場づくり 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の实地研修会：2単位 基礎研修の实地研修会：2単位	0 (0.5) 4 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第26回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 5月19日(土) 15:15～18:30 シーガイアコンベンションセンター 参加費:1,000円	周期期から外来診療まで役立つ静脈血栓塞栓症の予防と医療安全対策 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科 教授 高平 尚伸	7 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
	高齢者の要介護原因疾患の疫学：ロコモとフレイルと認知症 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター ロコモ予防学講座 教授 吉村 典子	13 (0.5) 62 (0.5)	
	運動器慢性痛の病態と治療－集学的治療を含めて－ 福島県立医科大学医学部整形外科学講座 教授 矢吹 省司	59 (0.5) 60 (0.5)	
日医かかりつけ医機能研修制度 平成30年度応用研修会(日医TV会議) 5月20日(日) 10:00～17:15 県医師会館	かかりつけ医の感染対策 川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	健康増進・予防医学 岡山家庭医療センター センター長 松下 明	11 (1.0)	
	フレイル予防, 高齢者総合的機能評価(CGA)・老年症候群 東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢	19 (1.0)	
	かかりつけ医の栄養管理 帝塚山学院大学 学長 津田 謹輔	11 (1.0)	
	かかりつけ医の在宅医療・緩和医療・終末期医療 いらはら診療所 在宅医療部長 和田 忠志 北里大学医学部地域総合医療学 教授 木村 琢磨	81 (1.0)	
	症例検討 北海道家庭医療学センター 理事長 草場 鉄周 武田医院 院長 武田 光史	29 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡外科医会 5月例会 5月21日(月) 19:30～20:30 宮崎観光ホテル	悪性腫瘍に対する陽子線治療 メディポリス国際陽子線治療センター センター長 萩野 尚	9 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ◇共催 メディポリス医学研究所 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎市郡医師会 5月例会並びにし ののめ医学会特別 講演会 5月25日(金) 19:00～21:30 宮崎観光ホテル	膀胱癌早期診断の最前線 尾道総合病院 診療部長・内視鏡センター長 花田 敬士	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
宮崎県医師会死体 検案研修会 5月26日(土) 16:00～18:00 県医師会館	警察における死体取り扱いについて 宮崎県警察本部刑事部捜査第一課 検視官室長 池田 孝	6 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県警察医会
	災害時における検視検案について 河野外科医院 理事長 河野 朗久	1 (1.0) 14 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 5月30日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場のメンタルヘルスの重要性 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-63-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
延岡医学会学術講演会 6月1日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡	当院における急性冠症候群患者の脂質低下療法(仮) 宮崎県立延岡病院循環器内科 医長 黒木 一公 ----- 積極的脂質低下療法の最新知見 一冠動脈疾患に対する新たなアプローチ(仮) 琉球大学医学研究科循環器・腎臓・ 神経内科学講座 診療教授 岩淵 成志	12 (0.5) 73 (0.5) 75 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アステラス製薬(株) アステラス・アムジェン・バイオファーマ ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第79回宮崎県精神科医会懇話会 6月2日(土) 17:30～19:00 宮崎観光ホテル	統合失調症の概念・病態・治療 京都大学医学研究科脳病態生理学講座 精神医学教室 教授 村井 俊哉	29 (0.5) 69 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬(株)
第15回宮崎膠原病リウマチ治療研究会 6月6日(水) 19:10～20:50 宮崎観光ホテル 参加費:500円 (学生無料)	症例検討会 ①抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎関連間質性肺炎の5例 宮崎県立宮崎病院リウマチ膠原病内科 医長 上田 尚靖 ②当院におけるゴリブマブ有用性の検討 かいクリニックリウマチ科・整形外科 院長 甲斐 睦章 ----- 膠原病に伴う肺疾患 長崎大学医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野 第二内科 教授 迎 寛	61 (0.5) 45 (1.0)	◇主催 宮崎膠原病リウマチ治療研究会 ◇共催 ※田辺三菱製薬(株) ☎0985-32-9205
第62回ひむか運動器セミナー 6月8日(金) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル 参加費:500円	肩腱板断裂の病因・病態の解明と新規治療法への試み 一疼痛コントロールを含めて 鹿児島大学医歯学総合研究科運動機能修復学講座 整形外科学 教授 谷口 昇	3 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 ※アステラス製薬(株) ☎0985-61-1537

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第76回宮崎整形外科懇話会 6月9日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費：1,000円	骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存ならびに外科的治療とその合併症 防衛医科大学校医学教育部医学科整形外科学講座 教授 千葉 一裕	59 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 6月13日(水) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェック実施と集団分析のやりかたーメンタルヘルス不調の事例を含むー 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
慢性疼痛セミナー in宮崎 6月21日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル 参加費：500円	高齢者脊椎障害に対するトータルケアマネジメント 秋田大学整形外科学講座 教授 島田 洋一	59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 慢性疼痛セミナー in宮崎 ◇共催 日本イーライリリー(株) ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041
宮崎県医師会産業医研修会 6月21日(木) 19:00～21:00 県医師会館	メンタルヘルスー発達障害のABCー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第82回宮崎大学眼科研究会 6月23日(土) 17:00～19:00 宮崎観光ホテル 参加費:2,000円	網膜疾患と眼内VEGFの変化 滋賀医科大学眼科学講座 講師 澤田 修	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 千寿製薬(株)
	緑内障診療ガイドライン(第4版) 熊本大学生命科学研究部眼科学分野 教授 谷原 秀信	36 (1.0)	
第127回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 6月27日(水) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	急性冠症候群患者におけるLDL-C管理 ー当院での新しい取り組みー 宮崎市郡医師会病院循環器内科 医長 松浦 広英	75 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 サノフィ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	冠動脈疾患二次予防患者における脂質低下療法的重要性 北里大学医学部循環器内科学 教授 阿古 潤哉	73 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 6月28日(木) 14:00～16:00 県医師会館	治療と職業生活の両立 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 斎王	1 (0.5) 5 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会:2単位	7 (0.5)	
		10 (0.5)	
第13回宮崎心臓リハビリテーションセミナー 6月28日(木) 18:50～20:40 JA-AZMホール	地域リハで必要とされる心臓リハビリテーション(仮) 臼杵医師会立コスモス病院 理学療法士・事務長 竹村 仁	12 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 ◇共催 トーアエイヨー(株)
	腎臓リハビリテーション: 今、何故?ー運動療法の実際ー 古賀病院21 院長 平松 義博	19 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 6月29日(金) 19:00～20:15 エンシティホテル 延岡	肺癌の診断と最新治療 宮崎県立延岡病院呼吸器外科 医長 能勢 直弘	45 (0.5) 46 (0.5) (肺)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大鵬薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第11回脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会 6月29日(金) 19:00～20:50 宮崎観光ホテル	急性冠症候群患者における脂質異常症の管理の実践 —エゼチミブの立ち位置— 宮崎市郡医師会病院心臓病センター循環器内科 医長 松浦 広英 他	23 (0.5)	◇主催 脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会 ◇共催 MSD(株) ※バイエル薬品(株) ☎0120-077-552
	脂質の量と質に視点をのいた動脈硬化性疾患予防戦略 筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科 教授 島野 仁	73 (0.5) 75 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 7月5日(木) 19:00～21:00 県医師会館	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第15回九州臨床糖尿病医会セミナー 7月7日(土) 16:40～19:30 シーガイアコンベンションセンター	行動修正と薬物治療の最新トピック かたやま内科クリニック 院長 片山 隆司	82 (0.5)	◇主催 九州臨床糖尿病医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎0120-852-297
	肥満・糖尿病における摂食と運動の新たな理解 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光	23 (0.5)	
	インスリンを敗戦処理投手にしないために 順天堂大学 名誉教授 河盛 隆造	76 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 7月11日(水) 14:00～16:00 県医師会館	ストレス軽減へのストレス対処法と面接指導 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県外科医会・ 宮崎県整形外科医 会・宮崎県医師会 労災部会合同学会 7月14日(土) 17:00～18:00 県医師会館	スポーツ外傷・障害における骨盤・胸郭機能の重要性 鹿屋体育大学保健管理センター 教授 藤井 康成	11 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 生涯研修の実地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 7月21日(土) 9:00～18:10 7月22日(日) 9:00～16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり)	(1日目 9:00～9:50) がんのリハビリテーションの概要 日南市立中部病院リハビリテーション科 鈴木 幹次郎	9 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県歯科衛生士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	(1日目 12:30～14:00) 周術期リハビリテーション 一乳がん, 頭頸部がん, 開胸・開腹術, 脳腫瘍一 宮崎市立田野病院 黒木 洋美 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎 日南市立中部病院 理学療法士 前田 篤志	24 (0.5) 45 (1.0)	
	(1日目 14:10～15:20) 化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理 血液腫瘍, 造血幹細胞移植に対するリハビリテーション 慶應義塾大学医学部 大森 まいこ	19 (0.5) 62 (0.5)	
	(1日目 15:30～16:40) 転移性骨腫瘍に対するリハビリテーション 慶應義塾大学医学部 大森 まいこ ADL・IADLに対するリハビリテーション 小林市立病院 作業療法士 江藤 優子	18 (0.5) 24 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 7月21日(土) 9:00～18:10 7月22日(日) 9:00～16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり)	(2日目 9:00～10:00) がん患者の心理的問題 宮崎大学医学部附属病院精神科 船橋 英樹	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県歯科衛生士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	(2日目 10:10～11:10) 進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ 小牧市民病院 渡邊 紘章	81 (1.0)	
	(2日目 11:20～12:30) がん患者の摂食・嚥下障害、コミュニケーション障害 宮崎大学医学部附属病院 言語聴覚士 新名 由貴 口腔ケア 日南市立中部病院 言語聴覚士 横山 茂幹	34 (0.5) 47 (0.5)	
	(2日目 13:20～13:50) がんの悪液質に対するリハビリテーション 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎	18 (0.5)	
	(2日目 13:50～14:30) リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討含む) 宮崎県立宮崎病院 がん専門看護師 藤井 和実	10 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月26日(木) 14:00～16:00 県医師会館	発達障害－職場で取り組もう－ 産業保健相談員 都城新生病院 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
かかりつけ医と精 神科医－Medical Collaboration Forum－2018 7月27日(金) 18:50～20:35 宮崎観光ホテル 【TV会議場：都城 ウェルネス交流プ ラザ、日南市テク ノセンター】	睡眠時無呼吸症候群(SAS)の話題(仮) 潤和会記念病院睡眠外来 谷山 ゆかり 精神救急における対応・過量服用などの話題(仮) 宮崎県立宮崎病院精神医療センター センター長 河野 次郎	69 (0.5) 20 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県精神科医会 ※MSD(株) ☎0985-28-9496

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a, e	d, e	e	e	a, d	b, d	b	c	e	d

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

私 の 本



宮崎市 潤和会記念病院 院長

いわむら たけし
岩村 威志緩和ケア病棟メッセージ
『旅立つ人に寄り添って』

発行所 鉾脈社

編 集 潤和会記念病院緩和ケア病棟
メッセージ集編集委員会

定 価 本体 1,500円(税別)

潤和会記念病院では平成26年4月に記念病院南館6階に緩和ケア病棟(24床)を開設いたしました。開設後これまで多くの患者さんの看取りを行ってまいりました。患者さんや患者さんの旅立ちを見守るご家族はさまざまな想いを持って、最期の時間を緩和ケア病棟で過ごされました。それとともに看護師・スタッフもたくさんの出会いと別れの中でさまざまな想いで旅立ちのお手伝いをしてまいりました。また緩和ケア病棟では看護学生の実習を受け入れています。今後、看護を担う看護学生さんは、患者さんを看取るということを学んでくれ、若い目でいろいろなことを感じてくれました。

この様な中、このたび、潤和会記念病院では、大切な方をなくされたご家族、病棟で働く看護師・スタッフ、緩和ケア病棟で実習をされた看護学生さんたちに緩和ケアにまつわるエッセイの寄稿を呼びかけました。最終的には47編ものエッセイをいただき、鉾脈社のご助力のもと、本としてまとめることができました。内容は以下のような章で構成されています。

- 一の章 家族の想い
- 二の章 看護師の想い
- 三の章 スタッフの想い
- 四の章 看護学生の想い

緩和ケア病棟で大切な方の旅立ちを見守られたご家族、病棟で働く看護師・スタッフ、さらには看護学生さんの想いが詰まった感動的なエッセイ集となりました。みなさまにお読みいただければ幸甚に存じます。

潤和会記念病院内ミングス売店(0985-47-2528)および県内主要書店で販売中です。



診療メモ

改正道路交通法後の宮崎県の臨時適性検査の実情報告と、
自経験報告野崎病院 認知症疾患医療センター長 ^{う だ がわ} 宇田川 ^{みつ たか} 充 隆

1. はじめに

H29年3月12日に改正、道路交通法(以下、改正道交法)が施行され11か月経過した。臨時適性検査を命じられた高齢者ドライバーが増え、かかりつけ医も認知症専門医療機関も、臨時適性検査と診断書作成の負担がかなり増えるという話と危惧されたが、殆どの医療機関から混乱が生じているという話は聞かれない。当院でも年間80人程度まで運転免許関連の初診が受けられるように外来特別枠を設けたが、改正道交法以降11か月で、本人ないし家族からの運転相談目的の初診が16人、免許センターで第1分類(認知症のおそれがある)が出たことでの臨時適性検査目的の初診が7人であった。混乱が回避されている要因について、自経験のデータと、宮崎県警察(以下、県警)の資料を基に考察した。

本文中に出てくる認知症専門医(以下、専門医)とは、日本老年精神医学会、日本認知症学会の専門医(県内合計17人：各学会ホームページ参照)を指し、指定医とは、改正道交法に伴い、県警公安委員会からの診断書作成のための受診協力を了承した医師(県内合計94人)を指す。指定医がいる医療機関は県内で40か所あり、そのうち専門医か精神科医がいる医療機関は26か所である。

2. 自主返納する高齢者が増えていることについて

要因の一つに挙げられるのが、第1分類が出

た時点で免許更新を家族や医療機関と話し合い自主返納される高齢者がかなりいることである。表1と表2は筆者自身の外来に運転免許相談目的で初診された方で、認知症と診断し、自主返納を促した結果であるが、改正道交法前に比べ自主返納に応じられる割合は増えている。一部の認知症の人が引き起こした重大事故が社会問題となったことや、改正道交法を契機として、運転継続の可否について、高齢者やその家族の意識が高くなっている印象を受ける。

県警の資料によると、表3のように宮崎県ではH29年3月12日～H30年1月31日の間に、簡易認知機能検査で第1分類となった人が599人おり、期間内は何度も検査を受けることができることで第2、3分類へ昇格した267名、自主返納した26名を除くと、診断書提出命令が発行された人は306名であった。診断書提出命令後再受検により第2、3分類へ昇格した11名を除くと295名が診断書提出の必要が出てくることになるが、そのうち自主返納した人の総数は145名(診断書を提出せずに自主返納した人は111名、診断書提出後自主返納した人は34名)とほぼ半数であった。納得の程度はさまざまであろうが、できる限り納得して自主返納されることが望ましい。自主返納が多い結果には、免許センターでの相談対応のみならず、医療機関も自主返納を勧めることに努力していることも貢献しているものと、考える。

表 1. 改正道路交通法施行前(H27年4月1日～H29年3月11日)、筆者自身の外来に運転免許相談目的で初診された方で、認知症と診断し、自主返納を促した結果

	認知症と診断し、自主返納に応じる	認知症と診断し、自主返納に応じず、家族が希望し、診断書を作成	認知症と診断し、自主返納に応じず、家族は診断書作成を希望せず	認知症以外で診断書作成
本人ないし家族からの運転相談	11 人	4 人	6 人	なし
免許センターからの臨時適性検査	0 人	2 人	なし	0 人

表 2. 改正道路交通法施行後(H29年3月12日～H30年2月28日)、筆者自身の外来に運転免許相談目的で初診された方で、認知症と診断し、自主返納を促した結果

	認知症と診断し、自主返納に応じる	認知症と診断し、自主返納に応じず、家族が希望し、診断書を作成	認知症と診断し、自主返納に応じず、家族は診断書作成を希望せず	認知症以外で診断書作成
本人ないし家族からの運転相談	9 人	3 人	2 人	なし
免許センターからの臨時適性検査	3 人	1 人	0 人	3 人

表 3. H29年3月12日～H30年1月31日の診断書提出命令対象者の経過(県警資料)

免許更新時：第 1 分類該当者					599 人
診断書提出命令対象者（免許更新時：第 1 分類該当者）					306 人
診断書提出者	130 人	認知症診断	53 人	自主返納者	34 人
				期限失効者	6 人
				取消処分者	6 人
				停止処分者	2 人
				処理手続き中	5 人
		上記外	77 人	認知症に非ず	19 人
				軽度認知障害（半年後再診断）	58 人
診断書提出事由 解消者	144 人	再受検（第 2,3 分類へ昇格）			11 人
		自主返納者			111 人
		期限失効者			22 人
診断書未提出者（処理手続き中）					32 人

3. 免許返納や診断書作成へのかかりつけ医の協力

我々医師は、患者の運転能力の評価に関して専門家でもなければ、運転の能力、事故を防ぐ判断能力、安全運転の保証の判断を行える完全な手法を持ち合わせていない。しかし、現法律では臨時適性検査において、運転継続に影響を与えうる認知症であるか否かの診断を求められ、誰が行うかが問題となる。H29年3月12日～H30年1月31日に免許センターに提出さ

れた臨時適性検査の診断書を作成した医師についてみると(表 4)、専門医が18人(12.9%)、精神科医が55人(39.6%)と合すると半数以上を占めるが、専門医か精神科医でない指定医が28人(20.1%)、上記以外のかかりつけ医が38人(27.3%)であった。この結果から、まず臨時適性検査の診断書作成において、かかりつけ医の意識が高く、診断書作成に積極的に携わっていることが考察される。交通手段の半数以上を自動車に頼っている本県では、運転免許を失うこ

表 4. H29年3月12日～ H30年 1月31日に、診断書作成した医療機関の内訳(県警資料)

	認知症専門医	認知症専門医以外の精神科医	認知症専門医か精神科医でない指定医	左記以外の医師	合計
認知症の診断	6 人	20 人	8 人	20 人	54 人
軽度認知障害の診断	10 人	27 人	17 人	12 人	66 人
認知症でも軽度認知障害でもない診断	2 人	8 人	3 人	6 人	19 人
合計	18 人	55 人	28 人	38 人	139 人

とで日常生活に支障を来たす可能性が高い。生活に影響を与える結果となる診断書であるが故に、患者・家族が一定の認知症診断の基準を満たしている専門医の診断を求めることもあるが、信頼し長い付き合いがあるかかりつけ医の判断や勧めだからこそ受け入れることができる症例も多数みられる。その点で、現在の宮崎県医師会を中心にかかりつけ医が診断書作成に協力されている姿勢は望ましいと考える。その他に、かかりつけ医での判断や対応に苦慮される場合のバックアップ体制として、専門医や精神科医だけでなく、指定医が機能していることも言える。この体制作りには、改正道交法前に県警が各病院に直接出向いて協力を求め、宮崎県医師会も協力した経緯がある。今後も、現在の体制が維持されることが望ましい、と考える。

4. 医療機関からの任意の届出

H26年 6 月 1 日に一部改正された道路交通法で、医師は任意ではあるが、公安委員会に認知症運転者を通報する社会的責務が課せられている。届出については、日本神経学会、日本神経治療学会、日本認知症学会、日本老年医学会、日本老年精神医学会が合同で、「わが国における運転免許証に係る認知症等の診断の届出ガイドラインについて」を公表¹⁾しており、①認知症と診断した患者が自動車運転をしていることがわかった場合、運転を中止し、免許証を返納するように患者および家族らに説明すること、②届出をする際には、必ずしも患者の同意は必須でないが、患者および家族らの同意を得るようにすること、などがあげられている。本県で

H26年は 1 件であった届出が、H27年は 3 件、H28年は 4 件、H29年は 7 件と増えている。重大な事故に至った際には、本人のみならず家族にとっても取り返しのつかない事態になりえ、必要な対応であり、医療者も認知症高齢者の運転について、意識が高まってきている結果の一つと考える。

5. 最後に

一部の認知症の人が引き起こした重大事故が社会問題となり、警察も医療者も対応に迫られることが増えている。長年にわたり自動車運転をしてきた者には、生活の一部であるだけでなく、生き甲斐となっており、自動車免許を手放すことは社会とのつながりが絶たれ、趣味その他の社会活動に制限が生じ、意欲低下、社会的引きこもりの傾向が高まる可能性がある。自治体を中心に諸機関が協力し合い、代替の移動手段の確保や、往診による在宅医療サービスの確保、認知症の人が豊かに生きがいをもって生きるための地域作りが求められ、我々医療者の協力も求められている。

- 1) 日本老年精神医学会：わが国における運転免許証に係る認知症等の診断の届出ガイドラインについて。 Available at : <http://184.73.219.23/rounen/news/20140530unten.htm>

「はまゆう随筆」原稿募集

7, 8 月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数 800字以内(字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 平成30年 6 月29日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり 1 編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

宮大医学部学生のページ



学生から見た第112回医師国家試験の結果と今後の対策

宮崎大学第113回国家試験対策委員会 副委員長 5年 ^いずみ ^ま 泉 ^い 摩 依

4 月に入り、新年度が始まりました。宮崎大学でも、それぞれに新しい学年での講義や、新入生の部活への勧誘が行われ、どこか気もそぞろな日々となっています。

そんな中、新 6 年生はいよいよマッチング、そして卒業試験および医師国家試験に向けて動き始めています。今年度の試験等の日程につきましては別添の表(表 1)をご覧ください。来年 2 月の国家試験期間を中心に、模擬試験やビデオ講座の案内・手配、国家試験当日の交通や宿の手配など、年間を通して 6 年生のサポートをするのが、私たち国試対策委員会です。3 年生から 5 年生各 4 名、計 12 名で構成され、今年度幹部は委員長：唐澤賢祥、副委員長：泉摩依、会計：山本麻由、模試係：馬淵大輝(いずれも 5 年生)が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、去る 3 月に第 112 回医師国家試験の結果が発表となりました。結果をご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、この回から試験日数や問題数が大幅に変更となり(2018 年 3 月号の学生のページ参照)、また医師国家試験出題基準が変更されて最初の試験であったため、受験生にとっては混乱の多い試験となりました。そんな第 112 回の試験の結果は、全国の全体合格率 90.1% と、過去 10 年間で最低の合格率だった昨年度(88.7%)を上回る結果でした。ただし、宮崎大学は全体合格率 87.2% (133 名中 116 名合格、国立大学 43 校中 42 位)、新卒合格率 89.2% (120 名中 107 名合格、国立大学 43 校中 43 位)であり、先輩方も健闘を重ねられたものの、大学としては少し遺憾の残る結果となったようです。

これに対する今後の対策としては、学生がより自覚を持って継続的な学習を重ねていくことはもちろんですが、大学側の試みもいくつか考えられています。例えば、今年度より 5 年生に進級試験が義務付けられることとなりました。これまで 5 年生では進級のための試験がなく、ポリクリをこなせば進級できる仕組みでしたが、進級試験を設けることで学生の勉強習慣や基礎的知識レベルの確保を促すのが狙いのひとつと考えられます。

卒業試験のあり方を考えることも今後ますます重要となりそうです。考え方のひとつには、卒業試験の合格基準を上げて、合格者を厳しく制限するというものがあります。第 112 回国家試験にあっては、卒業試験の合格率が上がったことで国家試験の受験者が増えましたが(表 2)、それが合格率を下げる要因になったのではないかと、という見方があります。したがって、卒業試験をより厳しく

するというのは、“合格率”という点から見れば一つの改善策と言えるかもしれません。一方で、現行の卒業試験そのものが国家試験の合格率を下げているのではないか、という見方もあります。卒業試験の日程を見てみると、1日1教科の試験が1か月にわたって行われ(表1)、また、内容も国家試験に沿う科もあればオリジナルの筆記問題の科もあり、各科に委ねられている状況です。卒業試験を国家試験までのロードマップの中に位置づけ、国家試験に向けた勉強時間や勉強量を増やすために、例えば、1)卒業試験の期間を短縮する、2)過去の国家試験からの出題にする、3)国家試験の形式に沿った出題にする、などの案が考えられます。実際に、他大学の中には国家試験を強く意識した卒業試験とする、あるいは卒業試験をなくす、といった方策がとられているところもあるようです。

以上、簡素な内容ではありますが、今回の国家試験の結果と今後の対策について、特に卒業試験に焦点をあてて述べてきました。もちろん学生側としても、大学側の配慮だけにとどまらず、改善・強化できることから実践していきたい考えです。現在のところ、さらなる情報提供やビデオ講座・模試の充実を各企業に申し入れること、費用支払い時の煩雑さを軽減すること、国家試験当日の交通・宿・食事や国試対策委員会の支援内容の一層の充実を目指すことなどを考えております。これから先、さらに皆様からのご意見を反映していきたいと存じますので、今後とも、大学病院の教員・医員の方々をはじめ、皆様にお力添えをいただければ幸いに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

表1. 宮崎大学の今年度予定

医師臨床研修 マッチング	2018年8月2日(木)	参加登録締め切り
	9月21日(金)	中間公表
	10月4日(木)	希望順位登録最終締め切り
	10月18日(木)	マッチング結果発表
卒業試験	9月10日(月)～10月12日(金)	宮崎大学医学部 卒業試験
国家試験	2019年2月上旬～中旬	第113回医師国家試験

表2. 宮崎大学の医師国家試験合格者数・合格率の推移

回	総受験者	総合格者	総合格率	新卒受験者	新卒合格者	新卒合格率
第112回	133	116	87.2%	120	107	89.2%
第111回	114	100	87.7%	103	97	94.2%
第110回	112	101	90.2%	96	92	95.8%

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL 0985-22-5118)。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
2 月 23 日	・平成30年 4 月介護報酬等改定に関する諮問等の送付について ・刑務共済組合組合員証の無効について ・プエラリア・ミリフィカを原材料に含む「健康食品」を製造・販売する食品等事業者の監視指導について ・共済組合員証の無効通知について ・東日本大震災により被災した被保険者の利用者負担等の減免措置に対する財政支援の延長等について ・災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・介護保険適用除外施設における住所地特例の見直しの具体的運用について ・介護予防・日常生活支援総合事業における「国が定める単価」について ・「介護認定審査会の簡素化等に係るQ&A」の送付について
2 月 27 日	・第24回日本医学会公開フォーラムの開催について ・平成30年度日本医師会生涯教育制度について
2 月 28 日	・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.135」の提供について
3 月 1 日	・介護給付費等の書面による請求に係る経過措置等の周知について ・産業保健総合支援センターから地域産業保健センターの登録産業医への両立支援カードの配布について ・都道府県及び市町村における糖尿病性腎症重症化予防に係る取組状況について(平成29年度報告)
3 月 2 日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・「使用上の注意」の改訂について ・A型肝炎ウイルスによる食中毒の予防について
3 月 5 日	・医療法人の設立認可等に係る医療審議会の開催時期等について ・「かかりつけ医から専門医・専門医療機関への紹介基準」(日本糖尿病学会・日本腎臓学会作成 日本医師会監修)の送付について ・社会保険診療報酬支払基金並びに国民健康保険中央会によるシステム改修における接続試験等の実施について

送付日	文 書 名
3 月 6 日	・ 個人情報保護委員会・厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」の一部訂正について ・ 平成30年度宮崎県精神科救急医療システムに係る当番病院について
3 月 9 日	・ 第 9 次粉じん障害防止総合対策の推進について
3 月12日	・ 咳エチケット啓発ポスターについて
3 月13日	・ 看護師等免許保持者の届出制度に係るリーフレットの配布について ・ 社会人経験者等への看護師養成所PRポスターのホームページ掲載について ・ 看護学生実習の国民向けPRポスターのホームページ掲載について ・ 看護師の特定行為に係る研修制度に関するリーフレット（訪問看護ステーション・介護施設向け）の周知について ・ 覚せい剤原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について
3 月14日	・ 感染症発生動向調査事業実施要綱の一部改正について ・ 平成30年度からの新たな国民健康保険制度に関する広報について
3 月19日	・ 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料の送付について（平成30年 3 月 6 日開催）
3 月20日	・ 医療機器の添付文書の記載例について（その 7） ・ 「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の実施について ・ リスク評価結果に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について ・ 生計困難者に対して無料又は低額な費用で介護医療院を利用させる事業等について ・ 介護保険における平成30年度の保険者機能強化推進交付金について ・ 「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」について ・ 公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・ 検査料の点数の取扱いについて ・ ハーボニー配合錠の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について ・ 平成30年度「看護の日」及び「看護週間」について ・ 救命救急センターの新しい充実段階評価について ・ NBCR対策推進機構第 4 回「爆発物災害対策担当者養成講習会」の開催について
3 月22日	・ 平成30年度県立学校健康管理医報酬額について ・ 難病及び小児慢性特定疾病に係る医療費助成制度における指定医及び指定医療機関に関する申請書類の提出先の変更について ・ がん対策推進基本計画の変更について ・ 乾燥弱毒麻疹風しん混合ワクチンの接種状況等の把握調査について
3 月23日	・ 日本医学会シンポジウムの開催について

あとかき



4月より広報委員長を拝命いたしました。学生委員を除けば最年少なのですが、幸いなことに前委員長の沖田先生と前副委員長の西田先生が委員として残留されるので、きっとなんとかなるのではないかと考えております。読者の皆様の投稿あつての日州医事です。どうぞ筆の赴くままに、気楽に文章をお寄せください。医師会活動の広報だけでなく、医学生のページやグルメ情報など、楽しいコーナーも続けてまいります。医学生のページは自分達の若き青春の日々を思い出させてくれますので、特にお勧めです。宮崎大学医学部から学生さん4名が広報委員に参加してもらっており、我々中高年医師の良い刺激になっています。それでは2年間よろしくお願いいたします。(岡本)



先日、米寿の祝いに広島の実母に会いに行きました。86歳まで工場を経営し、自動車も運転していた母ですが、1年半前に50年経営してきた工場を辞めた途端に様子がおかしくなりました。一人暮らしも難しくなったため、今は兄の自宅近くの施設で暮らしています。久しぶりに会いましたが、いつもの陽気な母親で、記憶もしっかりしていましたが、「お前は、この前ヘリコプターで会いに来たね」とまじめに言っていた言葉に、「それぐらいの男になれ!」と言われていたのかと真剣に考えました。(野村)

今年の花粉症はなぜか軽くですみ、マスクと時々の内服で乗り越えられました。ニュースや新聞で宮崎市の花粉飛散状況を毎日チェックして過ごしましたが、宮崎市というくくりが大きすぎるのか、どうも自分の症状とは連動していない感じでした。花粉症の時期はくしゃみ、鼻水だけでなく、体もだるく、おなかも緩くなりがちで絶不調です。やっと全般に上向いてきました。短いですが、残りの春を楽しもうと思います。(西田)

新緑の5月。新茶の出回る季節になりました。新茶といえば、「八十八夜」。この日に摘まれたお茶を飲むと「縁起がいい」そうです。また、八十八夜に摘んだ新茶は、その後に摘んだ茶葉よりも栄養価やうまみ成分が多く含まれており、新茶を飲むと病気にならない、とか、八十八夜に摘まれた新茶を飲むと長生きできる、などと昔の人は言い伝えてきたそうです。今年は、5月2日。このようなことを考えながら新茶を飲んで至福の時を過ごしました。(上山)

いつの間にか3月も終わって年度が変わり、気付いたら5年生になっていました。私たちの代からカリキュラムが変わり、去年の11月から実習が始まっている影響で、今年の3月は休みなくずっと実習だったので4年生から5年生になったという実感が沸かなかったのだと思います。本当は少しくらい春休み欲しかったのですが…。何はともあれ、新しい学年になり後輩もたくさん入ってきたということで、また気を引き締めて実習を頑張っていきたいと思います。(二見)

3月末、部活の仲間と一緒に、西都原古墳群に、お花見に行きました。菜の花と満開の桜の景色に、圧倒されました。花より団子状態の部員もいましたが、花見だけでなく、竹馬や金魚すくいなど、西都花まつりを大いに楽しみました。

私は、宮崎出身で、ずっと宮崎に住んでいます。初めて西都原古墳群の桜を見ました。宮崎大学に進んでいます。地元を知らないことばかりです。残りの学生生活で、まだまだたくさんの宮崎の魅力を味わいたいと思います。(土持)

平成27年度から開始した女性医師等保育支援サービスは、今年度で4年目に入りました。平成29年度のお子様お預かりの実績は153件、保育サポーターをシフト待機制としているため、女性医師からの保育依頼を断ることなくサービスを提供できています。昨年度は婚活支援を開始し、今年度からは新たに妊娠中の女性医師へのマタニティ白衣の貸し出し(無料)を開始します。宮崎県医師会はワークもライフも応援します!(荒木)

今月のトピックス

日州医談 宮崎県における看護師・准看護師の育成問題を再考する

看護師については、様々な領域において、診察・治療等に関連する業務から患者の療養生活の支援に至るまで幅広い業務を担い得ることから、近年の患者の高齢化に伴い、看護師が果たし得る役割はますます大きくなっています。宮崎県内には、看護師を育成する場が17校、准看護学校としては医師会立の6校があります。しかし、医師会立以外の看護学校卒業生の県内就職率は低く、また県内には地域格差もあるなど、看護師の確保にはまだまだ問題があります。この問題に関して、花田武浩理事に詳しく説明していただきました。 4 ページ

報 告 第1回 宮崎県 病院内メディカルラリー開催

最近TVでも日常診療で遭遇する疾患を研修医が推測する番組が好評ですが、今回、宮崎大学医学部医療人育成支援センターが主催となり、県内の研修医と看護師を対象に、診療場面をシミュレーションで再現し、初期対応の判断・実践を学び合うメディカルラリーが、宮崎大学医学部で開催されました。参加者からもかなり好評だったようですので、これからの宮崎の医療にも期待したいと思います。 19ページ

診療メモ 改正道路交通法後の宮崎県の臨時適正検査の実情と、自経験報告

一部の認知症の人が引き起こした重大事故が社会的問題となり、改正道交法を契機に、運転継続の可否について、高齢者やその家族の意識が高まっています。自主返納する高齢者も増えており、その理由として、免許センターでの相談対応のみならず、各医療機関も自主返納を勧めることに努力されている現状があるようです。野崎病院認知症疾患医療センター長の宇田川充隆先生に詳しく説明していただきました。 74ページ

日 州 医 事 第825号(平成30年 5 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 岡本健太郎・副 委 員 長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、西田 隆昭、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)